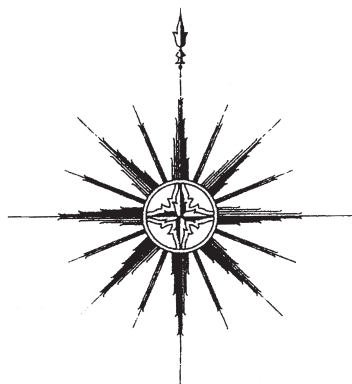


研究活動報告

(2009年12月～2010年11月)



凡 例

- (1) 現在の研究テーマ
- (2) 著書・論文ほか
- (3) 研究発表・講演
- (4) 学外集中講義
- (5) 海外出張・研修、そのほかの海外での活動
- (6) 科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など
- (7) 共同研究
- (8) 弘前大学人文学部主催の学会・研究会など

○文化財論講座

諸岡 道比古

(1)現在の研究テーマ

- ドイツ観念論思想における「宗教」論の研究

須藤 弘 敏

(1)現在の研究テーマ

- 東アジア仏教絵画史・東北の美術・文化政策

(2)著書・論文ほか

[著書]

- 『青森県史 文化財編・美術工芸』青森県、「序章」pp.3～6、「第二章 古代中世の造形」pp.39～55、「コラム1 県内三社の舞楽面」pp.56～59、「第三章 近世の造形 第三節 寺社の絵画」pp.145～150、「コラム5 多彩な絵画」pp.151～154、「第三章 近世の造形 第四節 彫刻」pp.170～192、2010年9月

[論文]

- 「経絵に映る宋と日本」、「國華」1376号、pp. 9～26、2010年6月

[研究ノート、報告書、その他]

- 「新田(1)遺跡出土の仏教関係遺物について」、ヨーゼフ・クライナー、吉成直樹、小口雅史編『古代末期の境界世界ー城久遺跡群と石江遺跡群を中心としてー』法政大学国際日本学研究所（市販版『古代末期・日本の境界 城久江遺跡群と石江遺跡群』、森話社）pp.301～304、2010年3月

(7)共同研究

- 青森県下寺院文化財態勢調査（22年度は平川市、黒石市、青森市）青森県

杉山 祐子

(1)現在の研究テーマ

- アフリカ農耕民社会におけるイノベーションと社会的変化、「動く身体」からみる在来知研究の可能性、ジェンダー、地方都市における自営業

(2)著書・論文ほか

[著書]

- 「ベンバのイノベーションに関する考察ー個別多発的イノベーションと抑制の平準化・促進の平準化ー」掛谷誠編『アフリカ地域研究と農村開発』（印刷中）

(3)研究発表・講演

- 「ミオンボ林帯焼畑農耕民のイノベーションに関する考察」日本アフリカ学会第47回学術大会 近畿大学主催@奈良文化会館（5月29日～30日）
- 「古いとしての狩猟とベンバの祖霊信仰」アフリカ・セミナー講演 仙台アフリカ・セミナーの会 9月9日 仙台市戦災復興記念館

(5)海外出張・研修、その他の海外での活動

- イギリス 2010年8月

(6)科学研究費補助金、その他の競争的研究資金など

- 基盤研究（B）「マイクロサッカートとしての在来知に関する人類学的研究」研究代表者
- 基盤研究（A）「アフリカ・モラル・エコノミーを基調とした農村発展に関する比較研究」分担者

(7)共同研究

- 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所「人類社会の進化史的基盤研究（2）」

(8)弘前大学人文学部主催の学会・研究会など

- 「マイクロサッカートとしての在来知」研究会 2009年6月および10月

関根 達人

(1)現在の研究テーマ

- 中近世考古学・アイヌ文化・亀ヶ岡文化

(2)著書・論文ほか

[著書]

- 関根達人・上條信彦・成田滋彦『成田彦栄氏考古・アイヌ民族資料図録』、弘前大学出版会、2010年9月30日、(ISBN978-4-902774-64-1)

[研究ノート、報告書、その他]

- 関根達人編著『平成19～21年度科学研究費補助金（基盤研究B）研究成果報告書 近世墓と人口史料による社会構造と人口変動に関する基礎的研究』、2010年3月23日
- 関根達人・立花晃一『佐藤蓑考古画譜』Ⅱ、弘前大学人文学部附属亀ヶ岡文化研究センター、2010年3月1日
- 関根達人「弘前城下出土の陶磁器と在地の焼物流通」、『季刊考古学』110号、66～69頁、雄山閣、2010年2月1日、(ISSN0288-5956)
- 関根達人「岩木地区における考古学的調査、根の山遺跡、大浦城跡出土の八稜鏡、大浦城跡（中世）、荒神山遺跡、岩木山神社元宮遺跡」、『新編弘前市史資料編岩木地区』、2～5・9～11・29～39頁、弘前市、2010年3月
- 三浦歌子・関根達人「資料紹介 窯跡採集資料からみた花巻焼」、『花巻市博物館研究紀要』6号、21～40頁、2010年3月29日
- 関根達人「相馬焼VS瀬戸焼」、『アジア流域文化研究』Ⅵ号、131～146頁、東北学院大学アジア流域文化研究所、2010年3月31日
- 関根達人・上條信彦「不備無遺跡」、『むつ市文化財調査報告書』38号、5～15頁、むつ市教育委員会、2010年3月31日
- 関根達人「コラム11 青森で発見された蝦夷錦、第五章工芸の展開第三節陶芸・二・三近世」、『青森県史』文化財編 美術工芸、482～484・580～603頁、青森県

(3)研究発表・講演

- 関根達人「松前藩主松前家墓所と松前城下の石廟」、立正大学考古学フォーラム 近世大名家墓所調査の現状と課題、立正大学、2010年10月10日
- 関根達人「つがるの宝、亀ヶ岡」、NPO法人つがる縄文の会主催JOMON亀ヶ岡文化フォーラム2009、つがる市生涯学習交流センター、2009年12月14日
- 関根達人「本州アイヌの実像に迫る」、平成21年度あおり県民カレッジ地域キャンパス講座、おいらせ町中央公民館、2010年2月4日
- 関根達人「津軽の土偶」、平成21年度平川市郷土史講座、平川市文化センター、2010年2月6日
- 関根達人「亀ヶ岡文化研究センターの調査・研究・社会貢献」、平成22年度発掘調査・報告書検討会議、青森県埋蔵文化財調査センター、2010年3月18日
- 関根達人「考古学からみた北奥の内国化」、第3回北東北三県共同展（「境界に生きた人々」記念講演、青森市福祉増進センター、2010年9月25日
- 関根達人「石造物と過去帳からみた津軽・松前の飢饉」、北奥文化研究会、五所川原市中央公民館、2010年10月17日
- 関根達人「本州アイヌの実像に迫る」、平成22年度あおり県民カレッジ地域キャンパス講座、十和田市中央公民館、2010年10月22日

(4)学外集中講義

- 北東北国立3大学単位互換集中講義、「物質文化研究（A）」、岩手大学、2010年8月17～20日

(5)海外出張・研修、その他の海外での活動

- ロシア連邦サハリン州（資料調査）、2010年8月25日～9月1日

(6)科学研究費補助金、その他の競争的研究資金など

- 科学研究費補助金（基盤研究A）「中近世北方交易と蝦夷地の内国化に関する研究」（平成22年度～）、研究代表者
- 科学研究費補助金（基盤研究B）「近世墓と人口史料による社会構造と人口変動に関する基礎的研究」（～平成21年度）、研究代表者

(8)弘前大学人文学部主催の学会・研究会など

- 大英博物館帰国記念弘前大学創立50周年記念会館改修記念「弘前大学の土偶」展、弘前大学創立50周年記念会館、2010年4月27日～5月9日
- ミニ特別展「下北半島の亀ヶ岡文化」、弘前大学人文学部附属亀ヶ岡文化研究センター、2010年10月22日～11月23日

山 田 巖 子

(1)現在の研究テーマ

- 民俗信仰の再文脈化 ● 唱導文化と民俗 ● 生命観の変遷 ● 「世間」と「世間話」

(2)著書・論文ほか

[研究ノート、報告書、その他]

- 山田巖子「桑の木に宿る神—青森県津軽地方におけるオシラサマ信仰の現在—」国立歴史民俗博物館編・発行『平成21年度国立歴史民俗博物館国際研究集会 民俗のなかの植物—日韓比較の視点から—』2009年12月 107～125頁（付：金賢貞訳 ハングル語）
- 山田巖子『第二次世界大戦下のオシラサマ信仰と民間巫者』（平成19年度～21年度科学研究補助金（基盤研究（C））研究成果報告書）弘前大学 2010年3月 弘前大学人文学部 45頁
- 山田巖子「交通・交易」青森県史編さんグループ編『青森県史叢書 西浜と外ヶ浜の民俗』2010年3月 43～52頁 青森県

(3)研究発表・講演

- 山田巖子「桑の木に宿る神—青森県津軽地方におけるオシラサマ信仰の現在—」国立歴史民俗博物館研究集会「民俗のなかの植物—日韓比較の視点から—」2009年12月24日 於：国立歴史民俗博物館

- 山田巖子「『世間』の変貌と『語り』—戦中・戦後の巫女をめぐる—」日本口承文芸学会シンポジウム「今、『世間』を問う」シンポジスト 2010年3月20日 於：國學院大學
- 山田巖子「イタコの『知識』と『文脈』」近世の宗教と社会研究会例会 2010年7月3日 於：薬研温泉古畑旅館
- 日本民俗学会国際シンポジウム（第852回談話会）「オーラルヒストリーと〈語り〉のアーカイブ化に向けて—文化人類学・社会学・歴史学との対話—」コメンテーター 2010年9月20日 於：成城大学

(7)共同研究

- 「日本とユーラシアの交流に関する総合的研究」人間文化研究機構連携研究

宮 坂 朋

(1)現在の研究テーマ

- ローマ・カタコンベ壁画の図像学的研究
- ローマ時代のフェニキア・カルタゴ文化的要素

(2)著書・論文ほか

〔論文〕

- 宮坂朋・泉拓良「イタリアにおけるフェニキア・カルタゴ遺跡調査」『フェニキア・カルタゴ考古学から見た古代の東地中海 2008年度』、12-14。
- 宮坂朋・泉拓良「イタリアのフェニキア・カルタゴ遺跡」『坪井清足先生卒寿記念論集—埋文行政と研究のはざまで—』、坪井清足先生の卒寿をお祝いする会、2009年11月、525-529

(3)研究発表・講演

- 2009年12月19日「イタリアの文化財」弘前大学公開講座「ヨーロッパの歴史と文化」、八戸サテライト
- 2010年2月26日講演「ローマ時代の美術」青森県立美術館。
- 2010年5月2日講演「卵からリングまで」青森県立美術館。

(5)海外出張・研修、その他の海外での活動

- 2010年9月 ローマ、イタリア共和国。

(6)科学研究費補助金、その他の競争的研究資金など

- 科学研究費補助金基盤研究（c）、研究代表者宮坂朋、「ヴィア・ラティーナ・カタコンベ壁画における包括的研究」

足 達 薫

(1)現在の研究テーマ

- イタリア美術史

(2)著書・論文ほか

〔著書〕

- 『彫刻の解剖学 ドナテッロからカノーヴァへ（イメージの探検学Ⅰ）』諸川春樹責任編集、松浦弘明、喜多村明里、足達薫、金山弘昌、金井直著、ありな書房、2010年（ISBN: 978-4-7566-1015-7）（共著 執筆箇所は145-188ページ）

(6)科学研究費補助金、その他の競争的研究資金など

- 科学研究費補助金 基盤研究（C） 課題名「マニエリスムの時代の眼：ジュリオ・カミッロの美術論の再構成に基づく」（研究代表者）

上 條 信 彦

(1)現在の研究テーマ

- 縄文終末期における食料獲得活動
- 残存デンプン分析・使用痕分析からみた道具の機能・用途の解明
- 使用痕分析からみた縄文儀器の使用法の研究

(2)著書・論文ほか

〔論文〕

学術雑誌、単著

- 上條信彦2010「円筒土器文化圏における食料加工技術の研究—礫石器の使用痕分析および残存デンプン粒分析を中心に—」『特別史跡 三内丸山遺跡年報』第13号.pp. 61-78
- 上條信彦2010「韓国新石器時代の分離・粉碎具と縄文文化」『季刊 考古学』第113号.pp.26-30

〔研究ノート、報告書、その他〕

- 上條信彦2010『成田彦栄氏旧蔵図書目録』弘前大学人文学部附属亀ヶ岡文化研究センター
- 関根達人・上條信彦2010「不備無遺跡」『平成21年度むつ市文化財調査報告』むつ市教育委員会.pp5-15

(3)研究発表・講演

- 上條信彦2010「民具の使用痕分析と残存デンプン分析」第27回日本文化財科学学会大会

- 宮田佳樹・斉藤香織・堀内晶子・南雅代・上條信彦・福島和彦・中村俊夫2010「飛行時間型二次イオン質量分析法（TOF-SIMS）による土器を用いた食性研究の試み」日本有機地球化学会
- (5)海外出張・研修、そのほかの海外での活動
 - 大韓民国韓神大学校・高麗大学校・漢江文化財研究院・忠州文化財研究院における先史時代石器資料調査（2010年3月14～19日）
- (6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など
 - 科学研究費補助金（若手研究（B））、食料加工技術からみた北日本における農耕受容過程に関する研究、研究代表者
- (8)弘前大学人文学部主催の学会・研究会など
 - 「下北半島の亀ヶ岡文化」亀ヶ岡文化研究センターミニ特別展2010年10月22日～11月23日

○思想文芸講座

植 木 久 行

- (1)現在の研究テーマ
 - 中国古典詩の詩跡研究、日本の俳諧歳時記所引漢籍考
- (2)著書・論文ほか
 - 〔論文〕
 - 「『増補俳諧歳時記采草』所引校読記（3）―夏之部・秋之部―」『人文社会論叢』（人文科学篇）第23号、2010年2月、pp.17～38
- (3)研究発表・講演
 - 教員免許状更新講習「国語科漢文授業の基礎」（8月19日、創立50周年記念会館）
 - 科研費研究会「第一次詩跡調査とその意義」（8月24日、総合教育棟424教室）
- (4)学外集中講義
 - 秋田大学教育文化学部（8月2日～6日、「中国文化論Ⅱ」）
- (5)海外出張・研修、そのほかの海外での活動
 - 中国詩跡調査（科研費、浙江・福建省、9月6日～13日）
- (6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など
 - 基盤研究B「中国文学研究における新たな可能性―詩跡の淵源・江南研究の確立―」（研究代表者）
- (8)弘前大学人文学部主催の学会・研究会など
 - 東北中国学会（5月29～30日、創立50周年記念会館・アソベの森いわき荘）

田 中 岩 男

- (1)現在の研究テーマ
 - ゲーテ『ファウスト』研究、日本におけるゲーテ受容の研究
- (6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など
 - 科学研究費補助金 基盤研究（C）「新しい『ファウスト』研究における多面的な解釈の総合の試み」（研究代表者）

今 井 正 浩

- (1)現在の研究テーマ
 - 西洋古代の医学と同時代の哲学との間の影響関係をめぐる思想文化史的研究
 - 医学・医療に関する倫理思想史的研究
 - アリストテレスを中心とした西洋古代の生物学思想についての哲学・思想史的研究
- (2)著書・論文ほか
 - 〔著書〕
 - 今井正浩（共著）『科学思想史』〔金森修編著／勁草書房刊〕 2010年7月30日
第8章「ギリシア医学における批判と論争」を執筆担当
 - 〔論文〕
 - 今井正浩（単著）「ヒポクラテス『技術論』と医学の存在根拠をめぐる論争」
弘前大学人文学部言語文化研究プロジェクト・平成21年度共同研究論集『言語とコミュニケーション―その文化と思想』
第2号 2010年3月30日発行 pp. 29-70.
- (3)研究発表・講演
 - 今井正浩（単独）「初期アレクサンドリアの医学思想におけるヒポクラテス医学の伝統」

日本科学史学会・第57回年総会 2010年5月29日・30日 東京海洋大学

(5)海外出張・研修、その他の海外での活動

〔在外研究〕

●イギリス ケンブリッジ大学・古典学部 公式在外研究員

(Official Visiting Scholar, Faculty of Classics, University of Cambridge, UK) 2010年9月29日～2010年11月9日

弘前大学教員業績評価にかかわる教員派遣制度にもとづく在外研究

(6)科学研究費補助金、その他の競争的研究資金など

●平成22年度科学研究費補助金・基盤研究(C)一般〔研究代表者〕

研究課題「解剖生理学の進展とヘレニズム期の人間観の展開をめぐる思想文化史的研究」

(7)共同研究

●弘前大学人文学部教員共同研究プロジェクト「テキストから読み解くヨーロッパ文化の諸相」(弘前大学人文学部長裁量経費)〔研究分担者〕

李 梁

(1)現在の研究テーマ

●『幾何原本』の翻訳研究(漢訳西学書の研究)、朱子詩論の研究、建築、詩跡、老舗を中心とする景観研究

(2)著書・論文ほか

〔論文〕

●「コインブラから東アジアへー近世東アジアにおける新知識体系をめぐるー」、『東アジア近代における概念と知の再編成』、国際日本文化研究センター、第35回国際シンポジウム論集、2010年3月、19～27頁。

●「新井白石の漢学與西学知識再考」、台湾中央研究院亞太区域研究專題中心、財団法人交流協会共催国際シンポジウム『東亜中の日本與台灣：日本研究新視野の探討国際研討会予稿集』、2010年10月、台北中央研究院、1～14頁。

(3)研究発表・講演

●Arai Hakuseki's (1657～1725) knowledge system and the change of his world view—Study on the formation of the new knowledge system in early modern East Asia (I) —
'L'imaginaire de l'autre-Les missionnaires et l'Orient', 於Cultures de l'Universit? d'Artois, Arras, France. 2009年12月3日～4日

●「新井白石の漢学與西学知識」『漢学與東亜文化』国際学術研討会(香港珠海学院、中国南京大学、台湾東海大学、韓國檀國大学校共催)、2010年3月28日～4月1日、於香港城景國際酒店

●「『幾何原本』翻訳研究—以概念的翻譯與公理思想為中心」、台湾天主教輔仁大学主催「紀念利瑪竇逝世四百周年國際學術會議『東西方對話的初啓與開展』」(International Symposium in Commemoration of the 400th Anniversary of Matteo Ricci 1552-1610: The Genesis and Development of East-West Dialogue)、2010年4月19日～22日、於台湾天主教輔仁大学

●「叙景詩と詩跡—朱子の武夷山を詠む詩を中心に」、科研費基盤研究(B)「中国文学研究における新たな可能性—詩跡の江南編の集大成をめざして—」研究会、2010年8月24日、於弘前大学

●「新井白石の漢学與西学知識再考」、台湾中央研究院人文社会科学研究センター亞太区域研究專題中心、財団法人交流協会共催国際シンポジウム『東亜中の日本與台灣：日本研究新視野の探討国際研討会』、2010年10月16日～17日、於台湾中央研究院(台北市南港)

●「島邦男博士とその甲骨文研究」(講演)、弘前大学名誉教授秋月観瑛先生米寿祝賀会を兼ねる東洋学談話会特別会合、2010年5月4日、於弘前大学人文学部多目的ホール

(5)海外出張・研修、その他の海外での活動

●2009年12月2日～12月8日 フランス(パリ、アラス、上記)

●2010年3月16日～20日 韓国(韓国日本語学会・高麗大学・漢字文化圏近代語研究会共催国際シンポジウム「漢字文化圏における近代のキーワード—概念史と語彙史からのアプローチ」、3月19日、於韓国誠信女子大学、分科会司会、コメンテーター)

●2010年3月27日～4月1日 香港・マカオ(上記)

●2010年4月18日～26日 台湾(上記)

●2010年9月4日～19日 中国(科研費詩跡調査団参加など)

●2010年10月15日～19日 台湾(上記)

(6)科学研究費補助金、その他の競争的研究資金など

●科学研究費基盤研究(B)「中国文学研究における新たな可能性—詩跡の江南編の集大成をめざして—」(分担、代表者：植木久行)

●学部長裁量金(代表)

(7)共同研究

●「東アジアにおける近代知の概念の再編」(学外)

●「『幾何原本』の翻訳研究」(学外)

●「近代東アジア思想研究」(学外)

- 地域研究プロジェクト「『再発見』される地域の魅力とその可能性」（学内）

泉 谷 安 規

(1)現在の研究テーマ

- ジョルジュ・バタイユ研究
- シュルレアリスム研究
- 19世紀・20世紀小説における精神医学の影響の関連性について

(2)著書・論文ほか

〔論文〕

- 「『アンドレ・ブルトン『通底器』における夢の記述の一読解の試み（Ⅰ）」、弘前大学人文学部『人文社会論叢』（人文科学篇）第24号、2010年8月31日、p.1-12

木 村 純 二

(1)現在の研究テーマ

- 日本倫理思想史における情念論および方法論

(2)著書・論文ほか

〔論文〕

- 「『荻生徂徠における天について』 『人文社会論叢人文科学篇第23号』（弘前大学人文学部編）、p.1～21、2010年2月

(3)研究発表・講演

- 「『源氏物語』『御法』『幻』巻について」 科研費研究報告会、2010年9月19日、万葉荘（神奈川県）
- 「『日本倫理思想史入門』 放送大学面接授業、2010年10月30～31日、放送大学青森学習センター

(6)科学研究費補助金、その他の競争的研究資金など

- 科学研究費補助金基盤研究（C）「日本倫理思想史における情念の総合的研究～『源氏物語』を機軸として～」（研究代表者）

山 口 徹

(1)現在の研究テーマ

- 大正期ロマン主義文学についての修辞学的研究
- 1910年代日独交流史の調査・分析

横 地 徳 広

(1)現在の研究テーマ

- 粋（いき）の倫理学 多角的安全保障論

(2)著書・論文ほか

〔論文〕

- 「『道徳的人格性と物性性の交差—ハイデガーの役割存在論を求めて—」（東北大学倫理学会編『MORALIA』第17号、2010年10月）

(3)研究発表・講演

- 日本現象学会・第32回研究大会（2010年11月27日・東京大学）にて、研究発表「『いき』と時間—九鬼試論—」

(6)科学研究費補助金、その他の競争的研究資金など

- 科学研究費補助金若手研究（B）、研究代表、課題番号21720002
「時間現象の倫理学的探究—ハイデガーとレヴィナスの相互照明—」
- 科学研究費補助金基盤研究（C）、研究分担、課題番号21520002
「対話の垂直性—ハイパーダイアログの包括的理解—」

○コミュニケーション講座

石 堂 哲 也

(1)現在の研究テーマ

- アメリカ社会と文化

木村宣美

(1)現在の研究テーマ

- 句構造の非対称性・線形化と構造的依存関係に関する理論的・実証的研究

(2)著書・論文

[論文]

- 「右枝節点線上げと非移動分析」『言語とコミュニケーション-その文化と思想II』（弘前大学人文学部言語文化研究プロジェクト）73-91頁 2010年3月30日

(3)研究発表・講演

- 弘前大学オープンキャンパス「『英語の情報構造』入門-どういう時に受動態が使われるのか」
弘前大学総合教育棟 2010年8月10日
- 学部説明・模擬講義『英語学入門-生成文法による英語の分析』
青森県立八戸高等学校 2010年8月23日

(6)科学研究費補助金、その他の競争的研究資金等

- 平成22年度日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究（C）（一般）
『句構造の非対称性・線形化と構造的依存関係に関する理論的・実証的研究』（課題番号22520487）
- 平成22年度弘前大学人文学部長裁量経費『テキストから読み解くヨーロッパ文化の諸相』（研究分担者）

山本秀樹

(1)現在の研究テーマ

- 世界諸言語の言語類型地理論的研究

(2)著書・論文ほか

[論文]

- 「世界言語特徴地図の作製と語順の地理的分布」『地理情報システムによる世界諸言語の言語類型地理論的研究』1-27頁。
2010年3月
- 「世界諸言語の研究を目的とした言語特徴の地図化」『言語とコミュニケーション - その文化と思想 - II』11-28頁。2010年3月

[研究ノート、報告書、その他]

- 『地理情報システムによる世界諸言語の言語類型地理論的研究』（平成18～21年度科学研究費補助金 基盤研究（C） 研究成果報告書）

(3)研究発表・講演

- 「世界諸言語全体の視点から浮かび上がる日本語の真の姿」「りんご王国こうぎょくカレッジ」FMアップルウェーブ
2010年9月放送

(6)科学研究費補助金、その他の競争的研究資金など

- 平成22～24年度文部科学省科学研究費補助金 基盤研究（C）「地理情報システムによる世界言語構造地図を活用した言語類型地理論的研究」（研究代表者：山本秀樹、研究分担者：乾秀行、研究協力者：松本克己）
- 平成18～21年度文部科学省科学研究費補助金 基盤研究（C）「地理情報システムによる世界諸言語の言語類型地理論的研究」（研究代表者：山本秀樹、研究分担者：乾秀行、研究協力者：松本克己）
- 平成21年度学部長裁量経費「言語とコミュニケーション-その文化と思想に関する調査・研究プロジェクト」（研究分担者）

田中一隆

(1)現在の研究テーマ

- 「観客論的視点から見たイギリス・ルネサンス演劇のマルチプル・プロット構造の研究」

(2)著書・論文ほか

[論文]

- （学術論文）"Shakespeare and the Meaning of Words,"『言語とコミュニケーション-その文化と思想』II（『言語とコミュニケーション-その文化と思想に関する調査研究プロジェクト』）、93～107頁、2010年3月30日

[研究ノート、報告書、その他]

- （その他）「『BBCシェイクスピア全集』について」、『豊泉』（弘前大学附属図書館報）、7～8頁、2010年5月31日

(3)研究発表・講演

- （研究発表）「『ヴェニスの商人』におけるnationとstateの概念について」、第1回シェイクスピア研究会、2010年1月23日、慶應義塾大学日吉キャンパス
- （研究発表）「イギリス・ルネサンス演劇のマルチプル・プロットーロバート・グリーン『ベイクンとパンゲイ』のstate

を巡って」、第3回シェイクスピア研究会、2010年9月3日、慶應義塾大学日吉キャンパス

(4)学外集中講義

- (講演)「シェイクスピア入門」、NHK青森文化センター、2010年1月～9月
- (出張講義)「シェイクスピアと英語文化の伝統」、北海道立札幌北陵高等学校、2010年11月5日
- (出張講義)「シェイクスピアと英語文化の伝統」、青森県立青森南高等学校、2010年11月25日

(6)科学研究費補助金、その他の競争的研究資金など

- (科学研究費補助金・基盤研究C)「観客論的視点から見たイギリス・ルネサンス演劇のマルチプル・プロット構造の研究」、研究代表者
- (学部長裁量経費)「テキストから読み解くヨーロッパ文化の諸相」、研究代表者

(7)共同研究

- 「太宰治自筆ノートの総合的研究」、研究代表者：長谷川成一附属図書館長

(8)弘前大学人文学部主催の学会・研究会など

- (国際学術講演会開催)テネシー大学マーティン校教授Dr. Roy Neil Graves, "The Hidden, Game-like Aspects of Shakespeare's Sonnets" (「ゲームとしてのソネット—シェイクスピアの隠された側面」)、2010年10月19日
- (国際学術講演会開催)テネシー大学マーティン校教授Dr. Roy Neil Graves, "The Legacy of Japanese Haiku in American Poetic Practice" (「アメリカ詩における日本の俳句の遺産について」)、2010年10月21日

上 松 一

(1)現在の研究テーマ

- Second Language Acquisition
- Learner Autonomy

(2)著書・論文ほか

[論文]

- 'A Student's Complaint about English Teaching at Hirosaki University? How Shall We Answer?' *21st Century Education Forum* Vol. 5 (31/3/2010): 39-47.

[研究ノート、報告書、その他]

- 教材Review: *Q: Skills for Success ? Listening and Speaking*. Oxford University Press. (2011) 2010年5月11日
- 教材Review: *Q: Skills for Success ? Reading and Writing*. Oxford University Press. (2011) 2010年5月11日
- 教材Review: *Reading development series*. Cengage Learning. 2010年6月4日

(3)研究発表・講演

- 'The five sentence patterns: how and how much do you teach?' 第60回教育研究青森県大会あおり教育のつどい2009「外国語分科会」青森市青森県教育会館・青森市立橋本小学校 2010年11月6日
- 公開授業「英語実習 AI」(総合教育棟213講義室) 2010年6月7日; 意見交換(人文学部404講義室) 2010年6月9日
- Australia 出張報告 (農学生命科学部331講義室) 2010年8月5日

(5)海外出張・研修、その他の海外での活動

- 2月3日～8日 Hawaii
- 3月25日～31日 Australia
- 11月11日～22日 England

(6)科学研究費補助金、その他の競争的研究資金など

- 2010年度学部長裁量経費

(7)共同研究

- 第60回教育研究青森県大会あおり教育のつどい2009「外国語分科会」研究協力者 青森市青森県教育会館・青森市立橋本小学校 2010年11月6日～7日

(8)弘前大学人文学部主催の学会・研究会など

- 弘前大学白神研究会「白神研究」第7号 2010年6月30日発行 編集委員

奈 蔵 正 之

(1)現在の研究テーマ

- フランス20世紀における時代状況と文学とのせめぎあい
—マルロー、サルトル、カミュの営為を中心として—
- アルベール・カミュの作家としての自己形成
- 世界を舞台にしたフランス語の展開

熊 野 真規子

(1)現在の研究テーマ

- フランス語教育学
- 映画研究（映画の中の「場所」）
- 地域映像フィルムアーカイブ

小野寺 進

(1)現在の研究テーマ

- イギリス小説研究
- 英語多読の方法と実践

(2)著書・論文ほか

〔論文〕

- Greimas's Actantial Model and the Cinderella Story - The Simplest Way for the Structural Analysis of Narratives - （弘前大学人文学部『人文社会論叢』（人文科学篇）第24号、pp.13-24、2010年8月）

(4)学外集中講義

- 平成22年度教員免許状更新講習（於：弘前大学、2010年8月11日）

(5)海外出張・研修、その他の海外での活動

- 2010年度POD Conference参加（セントルイス、アメリカ合衆国（2010年11月3日～7日））
- 英語多読に関するインタビューと調査・研究（ハワイ大学、アメリカ（2010年2月3日～7日））

(6)科学研究費補助金、その他の競争的研究資金など

- 平成21年度弘前大学教育支援経費（英語多読の包括的なプログラム開発のための調査・研究）

渡 辺 麻里子

(1)現在の研究テーマ

- 中世説話文学
- 仏教文学
- 中世の天台談義書
- 了翁と鉄眼版一切経・明版大蔵経
- 天神信仰と文芸

(2)著書・論文ほか

〔論文〕

- 「『定西法師伝』の研究——付（翻刻）宮内庁書陵部蔵『定西法師伝』——」、池宮正治編『古琉球をめぐる文学言説と資料学——東アジアからのまなざし』（三弥井書店）、単著、pp.474-532、2010年1月
- 「『東京大学蔵嘉興蔵大蔵経の概要と特徴』、『東京大学総合図書館所蔵嘉興大蔵経 目録と研究』Ⅱ研究編、平成17年度～平成21年度文部科学省科学研究費補助金特定領域研究・仏教道教交渉班「宋元明における仏教道教交渉と日本宗教・思想」（課題番号17083009）研究成果報告書、単著、pp.9-43、2010年9月
- 「『了翁と東京大学蔵嘉興蔵大蔵経について——瑞聖寺への寄進を中心に——』、『東京大学総合図書館所蔵嘉興大蔵経 目録と研究』Ⅱ研究編（同上）、単著、pp. 87-106、2010年9月
- 「『了翁禅師紀年録』について——叡山文庫延暦寺蔵『黄檗天真院了翁禅師紀年録』を中心に——」、『東京大学総合図書館所蔵嘉興大蔵経 目録と研究』Ⅱ研究編（同上）、単著、pp. 107-117、2010年9月
- 「『了翁祖休禅師行業記』について——〈付・翻刻〉秋田県公文書館蔵『了翁祖休禅師行業記』——」、『東京大学総合図書館所蔵嘉興大蔵経 目録と研究』Ⅱ研究編（同上）、単著、pp. 118-132、2010年9月
- 「天台談義所をめぐる学問の交流」、『中世文学と寺院資料・聖教』中世文学と隣接諸学2、竹林舎、単著、pp.450-475、2010年10月
- 「伝忠尋撰『七百科條鈔』について」、『天台学報』52号、単著、pp.57-65、2010年11月

〔研究ノート、報告書、その他〕

- 書評「小峯和明著『中世法会文芸論』」、『立教大学日本文学』一〇三号、単著、pp.182-186、2009年12月
- 「読む」「小野篁広才事」考——『宇治拾遺物語』第四九話、『日本文学』2010年2月号、単著、pp.72-76、2010年2月
- 報告書『東京大学総合図書館所蔵嘉興大蔵経 目録と研究』Ⅰ目録編・Ⅱ研究編、平成17年度～平成21年度文部科学省科学研究費補助金特定領域研究「東アジアの海域交流と日本伝統文化の形成——寧波を焦点とする学際的創生——」仏教道教交渉班「宋元明における仏教道教交渉と日本宗教・思想」（課題番号17083009）研究成果報告書、共著、2010年9月
- コラム④「黄檗版大蔵経」、『民衆仏教の定着』新アジア仏教史13日本Ⅲ、佼正出版社、単著、pp.230-234、2010年11月
- 講演録「信濃国津金寺談義所と天台談義」、『向学の燈花』新上田自由大学歴史学教室開創三十周年記念誌、単著、pp.61-103、2010年11月

(3)研究発表・講演

- 講演「信濃国津金寺談義所と天台談義」、主催・上小仏教文化研究会、共催・上田市教育委員会、新上田自由大学歴史学教室、単独、(於)上田市別所温泉 あいそめの湯多目的ホール、2010年6月19日
- 研究発表「天台宗系寺院資料から考える中世文学研究の可能性」、単独、平成22年度中世文学会春季大会・公開シンポジウム「寺院資料と中世文学研究」、(於)法政大学市ヶ谷キャンパス、2010年5月29日
- 研究発表「尊舜談「天台伝南岳心要見聞」について」、単独、平成22年度第52回天台宗教学大会、(於)叡山学院、2010年11月13日
- 講演「妙法院門跡龍華蔵の聖教について」、単独、第434回仏教文化講座、(於)三十三間堂本坊妙法院門跡、2010年11月28日

(4)学外集中講義

- 講義「生徒の学習意欲を高める古典指導——軍記文学の魅力——」(平成22年度 講座番号205 高等学校国語科教育講座 言語生活を広げる「読むこと」の指導、青森県総合学校教育センター)、2010年6月14日
- ドリーム講座「古典世界のヒーロー像」、平成22年度弘前大学ドリーム講座、青森県立五所川原高等学校、2010年9月30日

(6)科学研究費補助金、その他の競争的研究資金など

- 日本学術振興会研究費補助金・基盤C一般(H21～H24)「中世における談義書の研究——天台論義を中心として——」研究代表者

(7)共同研究

- ・人間文化研究機構国文学研究資料館・基幹研究「19世紀における出版と流通」

ジャンソン・ミッシェル

(1)現在の研究テーマ

- フランス語・フランス語教育学

(4)学外集中講義

- 山形大学・人文学部
- 秋田大学・教育文化学部

楊 天 曦

(1)現在の研究テーマ

- 現代中国文学と中国語圏の映像文化

(3)研究発表・講演

- シンポジウム「日本語で書く－文学創作の喜びと苦しみ」において口頭発表を行う。
場所：国際日本文化研究センター、2010.1.29

(5)海外出張・研修、その他の海外での活動

- 上海万博会場において映像技術に関する資料収集を行う、2010.10.29～2010.11.1

○国際社会講座

長谷川 成 一

(1)現在の研究テーマ

- 日本近世史の研究

(2)著書・論文ほか

[監修・編著]

- 『新編弘前市史 資料編 岩木地区』弘前市 2010年3月 pp1～907

[論文]

- 「藩領における植生景観の復元とその変容－近世津軽領を中心－」『弘前大学大学院地域社会研究科年報』第6号 2009年12月 pp1～63

(3)研究発表・講演

[研究発表]

- 弘前市「金穿渡世書上から見た幕末～近代の白山山地鉾山」白神研究会研究報告会 2010年4月

[講演]

- 弘前市「弘前城築城と城下の建設-土木工事を中心に-」第3回青森土木フォーラム 2010年11月13日
- 弘前市「弘前城築城と都市プラン」津軽学・人文学部公開講座 2010年11月25日

(6)科学研究費補助金、その他の競争的研究資金など

- 科学研究費補助金 基盤研究C「森林・鉱物資源の開発・活用から見た世界遺産白神山地の変容」(代表)(平成22年度)
 - 科学研究費補助金 基盤研究A「中近世北方交易と蝦夷地の内国化に関する研究」(分担)(代表関根達人 平成22年度)
- (7)共同研究
- 「18世紀日本の文化状況と国際環境」 国際日本文化研究センター
- (8)弘前大学人文学部主催の学会・研究会など
- 2010年度弘前大学国史研究会大会 2010年9月11日

V L カーペンター

- (1)現在の研究テーマ
- 食糧市場のグローバル化・食糧安全保障と関わる政治問題
 - 外交手段としての言語政策とソフトパワー
- (5)海外出張・研修、そのほかの海外での活動
- 2010.08.12~09.07: 米国 Michigan州、Minnesota州、Washington州 (Yakima市・Wenatchee市) (果実市場: 果実産業の集中化・規模拡大傾向・クラブ制リング品種の導入や流通に関する現地調査)
 - 2010.06.26~07.05: 米国 Los Angeles・San Francisco (「外交言語としての日本語の地位とソフトパワーとしての日本の言語政策的役割研究」をテーマとして、米国 Los Angeles 及び San Francisco の行政機関、研究所、大学等における現地調査)
 - 2009.12.24~12.28: 台湾台北市 (台湾市場における青森リングブランドの定着プロセスに関する調査研究)の現地調査)
- (6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など
- 挑戦的萌芽研究(代表者: 21・22年度)「台湾市場における青森リングブランドの定着プロセスに関する調査研究」
 - 基盤研究(B) 海外学術調査(代表者: 22・23・24年度)「ピンクレディー・システムに関する総合的調査研究」
 - 基盤研究(分担者: 22・23・24年度、代表者: 神田健策)「会員制(クラブシステム)による農産物の生産販売に関する基礎的研究」
 - 挑戦的萌芽研究(分担者: 22・23・24年度、代表者: 佐藤和之)「外交言語としての日本語の地位とソフトパワーとしての日本の言語政策的役割研究」

フィリップス、ジョン・エドワード

- (1)現在の研究テーマ
- 日本におけるアフリカの歴史的文献
 - ハウサ語の新聞における第二次世界大戦
 - ナイジェリアの内陸の歴史
 - 奴隷制の経済的な能率
- (2)著書・論文ほか
- [論文]
- “Japanese Historiography of Africa” (professor Li Anshan of Beijing University will be publishing this paper early next year in a memorial volume for his late colleague, Li Boaping)
- (4)学外集中講義
- 秋田大学 ― 「英語の歴史」2010年8月
- (5)海外出張・研修、そのほかの海外での活動
- ナイジェリアにおける研究活動:
 - アレワハウス「アハマドゥベッロ大学の史料センター」にのハウサ語新聞の写真撮影
 - ナイジェリアの内陸の教授との相談
 - ナイジェリアにおける学外講義
- “The History of Hausa Orthography” Centre for the Study of Nigerian Languages, Bayero University Kano, Nigeria, September 20, 2010
- “New Perspectives on the Economic Productivity of Slave Labor” Department of History, University of Jos, Nigeria, September 13, 2010
- Informal talk about History and International Studies to Department of History and International Studies, University of Jos, Nigeria, September 11, 2010
- “What I told the Chinese about Nigeria” Department of History, Ahmadu Bello University, Zaria, Nigeria, September 1, 2010

齋藤義彦

- (1)現在の研究テーマ
- カント研究、第2次メルケル政権下のドイツ研究

(2)著書・論文ほか

[論文]

- 齋藤義彦 「メディア分析から見た2009年ドイツ連邦議会選挙の政治過程」、弘前大学人文学部『人文社会論叢社会科学篇』第24号、2010年8月、1～26頁

柑 本 英 雄

(1)現在の研究テーマ

- 国際的行為体のアイデンティティの変容、EU地域研究、環海洋地域主義研究（環北海・環バルト海・環日本海など）

(3)研究発表・講演

[国内招待講演]

- 柑本英雄「北海地域グランドデザインとEUスペイシャルプランニング」、国土技術政策総合研究所総合技術政策研究センター建設経済研究室主催「第3回 国土と国土マネジメントを考える講演会」、2010年2月17日、つくば市。
- 柑本英雄「EU地域空間再編成とサブリージョン：越層する非国家領域的行為体とクロススケールガバナンスの視座からの分析」、人文地理学会第101回地理思想研究部会、2010年7月31日、新大阪市。

(4)学外集中講義

- 早稲田大学オープン教育センター講義「世界の基層文化とことば」、講義テーマ「ケルトの現代性―選択されるコンウォールのアイデンティティ」、2010年1月7日、早稲田大学。

(5)海外出張・研修、そのほかの海外での活動

- North Sea Stakeholder Conference出席およびインタビュー調査・資料収集、英国・ニューカッスル、2010年3月15日～3月21日。
- EU地域委員会（Committee of the Regions：CoR）フォーラム“Europe’s Macro-Regions: Integration through territorial co-operation”出席およびインタビュー調査・資料収集、ベルギー・ブリュッセル、2010年4月10日～25日。
- 欧州沿岸辺境地域会議（Conference of Peripheral Maritime Regions of Europe：CPMR）年次総会出席およびインタビュー調査・資料収集、英国・アバディーン、2010年9月28日～10月4日。
- EU北海地域諮問評議会（North Sea Regional Advisory Council：NSRAC）年次総会・執行委員会出席およびインタビュー調査・資料収集、英国・アバディーン、2010年10月20日～25日。

(6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

- 平成19年度～21年度、基盤研究（B）海外学術、「イタリアの国境地域と島嶼地域の“境界領域のメタモルフォーゼ”に関する比較地域研究」、研究分担者。
- 平成21年度～23年度、基盤研究（C）一般、「越層する国際的行為体の研究：自治体によるEU「地域別」漁業政策の取り組み」、研究代表者。
- 平成21年度～23年度、基盤研究（B）海外学術、「グローバル時代のマルチ・レベル・ガバナンス-EUと東アジアのサブリージョン比較」、研究分担者。
- 平成22年度～25年度、基盤研究（C）一般、「欧州ランドスケープ条約が各地域の景観・観光政策に及ぼす効果発現の実証的研究」、連携研究者。

荷 見 守 義

(1)現在の研究テーマ

- 東アジア地域史・中国史・朝鮮王朝史

(2)著書・論文ほか

[論文]

- 荷見守義「明人華重慶の朝鮮漂流とその刷還」『東国史学』第47輯、韓国・東国史学会、pp.263～290、2009年12月
- 荷見守義「明朝遼東総兵官考 - 洪武年間の場合 - 」（中央大学人文科学研究部）『人文研紀要』第68号、中央大学人文科学研究部、pp.133～167、2010年3月

(3)研究発表・講演

[研究発表]

- 東京都「被虜送還と中華秩序」 2010年9月19日 科学研究費補助金 基盤研究（A）（一般）「近代移行期の港市における奴隷・移住者・混血児・広域社会秩序と地域秩序 - 」シンポジウム「隷属者の光と影」（立教大学）

[講演]

- 弘前市「北緯40度の歴史学」 2010年5月4日 弘前大学人文学部・弘前大学東洋談話会共催シンポジウム「知らないと損をする中国」（弘前大学）

(5)海外出張・研修、そのほかの海外での活動

- 8月23日～9月3日 西地中海港市等調査（アムステルダム・グラナダ・セウタ・タンジェ・セビリア・コルドバ・ファ

ロ・ラゴス・サグレス・リスボン)

(6)科学研究費補助金、その他の競争的研究資金など

- 平成22年度～25年度、科学研究費補助金 基盤研究 (C) (一般) 「明朝遼東鎮をめぐる官僚人事・政策形成・朝鮮関係の解明」、研究代表
- 平成20年度～22年度、科学研究費補助金 基盤研究 (A) (一般) 「近代移行期の港市における奴隷・移住者・混血児・広域社会秩序と地域秩序 -」 (代表: 弘末雅士) 研究分担者

(7)共同研究

- 中央大学人文科学研究所共同研究チーム「檔案の世界」
- 中央大学人文科学研究所共同研究チーム「情報の歴史学」

(8)弘前大学人文学部主催の大会・研究会など

- 5月4日 シンポジウム「知らないと損をする中国」

松 井 太

(1)現在の研究テーマ

- 中央アジア出土古代トルコ語・モンゴル語文献の解読研究
- モンゴル帝国時代 (13～14世紀) の中央アジア史の再構成

(2)著書・論文ほか

[論文]

- Dai MATSUI, Uigur Peasants and Buddhist Monasteries during the Mongol Period. Re-examination of the Uigur Document U 5330 (USp 77). In: T. Irisawa (ed.), "The Way of Buddha" 2003: The 100th Anniversary of the Otani Mission and the 50th of the Research Society for Central Asian Cultures, Kyoto, Ryukoku University, 2010.3, pp. 55-66.
- Dai MATSUI, Uigur Manuscripts Related to the Monks Sivšidu and Yaqšidu at "Abita-Cave Temple" of Toyoq. 新疆吐魯番學研究院 (編) 『吐魯番學研究: 第三屆吐魯番學暨歐亞游牧民族的起源與遷徙國際學術研討會論文集』上海古籍出版社, 2010.5, pp. 697-714.
- 松井太「西ウイグル時代のウイグル文供出命令文書をめぐって」弘前大学人文学部『人文社会論叢』人文科学篇24, 2010.8, pp. 25-53.

[研究ノート、報告書、その他]

- 松井太 (廣中智之: 譯) 「吐魯番出土回鶻文書中所看到的七康湖和其灌溉」『吐魯番學研究』2010-1, 新疆吐魯番學研究院, 2010.6, pp. 79-81.
- 松井太「ウイグル人と交易活動」歴史学研究会 (編) 『世界史史料4 (東アジア・内陸アジア・東南アジアII・10-18世紀)』岩波書店, 2010.10, pp. 34-36.

(3)研究発表・講演

- Dai MATSUI, Taxation systems and the Old Uigur Society of Turfan in the 13th - 14th centuries. 2010年6月23日、Collegium Turfanicum 50, Berlin-Brandenburgische Akademie der Wissenschaften (Berlin, Germany)
- 松井太「内陸アジア出土資料からみたモンゴル時代のユーラシア交流」2010年8月10日、大阪大学歴史教育研究会大会「阪大史学の挑戦2」、大阪大学中之島センター
- Dai MATSUI, A Sogdian-Uigur Bilingual Fragment from the Arat Collection. 2010年10月24日、西域古典語言學術高峰論壇 (Turfan Forum on Old Languages of the Silk Road)、中国・新疆吐魯番學研究院

(5)海外出張・研修、その他の海外での活動

- イスタンブール大学 (トルコ共和国)・ベルリン科学アカデミー (ドイツ連邦共和国) において中央アジア出土古代ウイグル語文書資料の調査 (弘前大学教員業績評価に係る教員派遣制度; 三島海雲記念財団学術研究奨励金) 2010年3月29日～6月30日
- 内蒙古大学・内蒙古博物院 (中華人民共和国) において中央アジア出土文書史料の調査 (科学研究費) 2010年8月12日～8月21日
- カザフスタン共和国・ウズベキスタン共和国における諸遺跡の調査 (学習院大学東洋文化研究所研究プロジェクト; 科学研究費) 2009年8月30日～9月7日

(6)科学研究費補助金、その他の競争的研究資金など

- 代表「中央アジア出土古代ウイグル語帳簿資料の基礎的研究」科研費・基盤研究 (C)、2010～2013年度
- 代表「イスタンブール大学所蔵古代ウイグル文書資料の歴史学的研究」三島海雲記念財団学術研究奨励金 (人文科学部門)、2009年度
- 分担「シルクロード東部の文字資料と遺跡の調査: 新たな歴史像と出土史科学の構築に向けて」科研費・基盤研究 (A)、2010～2013年度 (代表: 荒川正晴)
- 分担「旅順博物館所蔵非漢文資料の総合的研究」科研費・基盤研究 (B)、2008～2011年度 (代表: 三谷真澄)
- 分担「中国新疆のウルムチ・トゥルファン両博物館所蔵非漢文古文献の研究」科研費・基盤研究 (B)、2007～2010年度 (代表: 梅村坦)

(7)共同研究

- 「イラン・中国・日本共同によるアルダビール文書を中心としたモンゴル帝国期多言語複合官文書の史料集成」トヨタ財団アジア隣人プログラム、2009～2010年度（代表：四日市康博）
- 「「農牧接壌地域」における民族と社会」学習院大学東洋文化研究所・研究プロジェクト、2010年度～2011年度（代表：高柳信夫）

林 明

- (1)現在の研究テーマ
 - ガンディーの思想及び歴史的再評価、サルヴォダヤ運動、ガンディーの精神の継承
- (2)著書・論文ほか
 - [論文]
 - 「ガンディー思想の構造」『サルボダヤ』、VOL.50-10-11、2010年11月、14-21頁
- (4)学外集中講義
 - 青森公立大学「人間の歴史」2010年5～7月
- (5)海外出張・研修、そのほかの海外での活動
 - インド（インドの日本山妙法寺に関する調査、インドの学生とのガンディーに関する意見交換、経済・宗教・文化面等における現代インドの変貌の有り様の調査）、2010年8月13日～8月28日

澤 田 真 一

- (1)現在の研究テーマ
 - 「差異」と「共生」をキーワードとしたオセアニアの文学と文化の研究
 - ポストコロニアル・アイデンティティ
- (2)著書・論文ほか
 - [著書]
 - 『新版オセアニアを知る事典』（共著、小林泉他編、11項目担当）平凡社 2010年5月
 - [論文]
 - 「ウィティ・イヒマエラとマオリ・ルネッサンス」『ニュージーランド研究』 第16巻 2009年12月 pp.17～26
 - [監修]
 - ジョイ・カウリー 『ハンター』（大作道子訳）偕成社 2010年6月
- (3)研究発表
 - 「隠蔽されてきたもうひとつの女性開拓者像：ヴィンセント・ウォードの『リバー・クィーン』を中心に」ニュージーランド学会、東北公益文科大学ニュージーランド研究所、日本ニュージーランド学会合同研究会、早稲田大学、2010年10月30日
- (8)弘前大学人文学部主催の学会・研究会など
 - 日本ニュージーランド学会第17回研究大会 2010年6月19日
 - 日本ニュージーランド学会公開シンポジウム「ニュージーランドから学ぶ：差異を差別につなげない国づくり」 2010年6月20日

フルト、フォルカー

- (1)現在の研究テーマ
 - 平和研究、平和運動、歴史教育、戦争責任論

城 本 る み

- (1)現在の研究テーマ
 - 台湾・中国の高齢者福祉に関する研究
- (2)著書・論文ほか
 - [論文]
 - 「台湾における高齢者福祉政策と施設介護」（弘前大学人文学部『人文社会論叢』（社会科学篇）第23号 pp.1-28）
 - 「台湾における外国人介護労働者の雇用」（弘前大学人文学部『人文社会論叢』（社会科学篇）第24号 pp.27-66）
- (3)研究発表・講演
 - 「台湾における高齢者福祉の特徴」日本社会分析学会第118回例会（九州大学）

- (6)科学研究費補助金、その他の競争的研究資金など
●文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 (C) (平成20～23年度継続課題)
「台湾の高齢者福祉に関する研究」(研究代表)

足 立 孝

- (1)現在の研究テーマ
●中世盛期スペイン・エプロ川流域における城塞集落の形態生成論的研究
- (2)著書・論文ほか
[論文]
●足立孝「9-11世紀ウルジェイ司教座聖堂教会文書の生成論—司教座文書からイエ文書へ、イエ文書から司教座文書へ」『西洋中世研究』第1号、2009年、87-105頁
[研究ノート、報告書、その他]
●『岩波世界人名大辞典』24項目執筆、2011年刊行予定
- (5)海外出張・研修、その他の海外での活動
●スペイン：国立歴史文書館および国立図書館(科学研究費) 2010年3月
- (6)科学研究費補助金、その他の競争的研究資金など
●代表：「中世盛期スペイン・エプロ川流域における城塞集落の形態生成論的研究」(文部科学省科学研究費補助金・若手研究 (B))

○情報行動講座

船 木 洋 一

- (1)現在の研究テーマ
●マルコフ決定理論
- (2)著書・論文ほか
●船木洋一、「割引総報酬関数の分布」、『弘前大学人文社会論叢』(社会科学編)、第23号、175-184頁(2010年2月)

清 水 明

- (1)現在の研究テーマ
●デカルト哲学とメルロ・ポンティ哲学を中心とする近・現代の哲学
●心の哲学
- (2)著書・論文ほか
[その他]
新聞連載書評エッセイ「あんな本こんな本」
- | | | |
|-------------------------|---------|------|
| ●レヴィ・ストロース著『悲しき熱帯』 | 2009.12 | 陸奥新報 |
| ●下條信輔著『サブリミナル・インパクト』 | 2010.01 | 陸奥新報 |
| ●ジャレッド・ダイヤモンド著『銃・病原菌・鉄』 | 2010.02 | 陸奥新報 |
| ●マーティン・ガードナー著『信じる理由』 | 2010.03 | 陸奥新報 |

奥 野 浩 子

- (1)現在の研究テーマ
●英語の非下位範疇化目的語の出現条件
●日本と韓国の初期英語教育
- (2)著書・論文ほか
[論文]
●日本語と韓国語の複合動詞と類像性、『人文社会論叢』(人文科学篇)第23号、2010年2月、pp.11-16。
- (3)研究発表・講演
●弘前大学ドリーム講座：「ことばの規則性をさぐってみよう」青森県立青森北高等学校、2010年10月26日

作 道 信 介

(1)現在の研究テーマ

- 社会変動と病気
- ホールドとしての出稼ぎ

(2)著書・論文ほか

[論文]

- 作道信介「家長の社会化について：アフリカ牧畜民トゥルカナの古い場面から」菊池章夫他編『社会化の心理学／ハンドブック：人間性への多様な接近』川島書店 397-420.

[研究ノート、報告書、その他]

- Sakumichi,S. 2010 The emergence of Ewosin-a-ngacin among the Turkana, the pastoralist of northwestern Kenya: An embodied adjustment to the drought-induced social change. In conference abstracts, XVII World Congress of Sociology: International Sociological Association, pp.443-444.

(3)研究発表・講演

- An embodiment of Droughts: the emergence of Ewosin-a-ngacin among the Turkana, the pastoralist of northwestern Kenya.アフリカ学会東北支部会講演会（2010年7月5日、於弘前大学）
- 「フィールドワーク：東北フィールド学派の系譜をめぐって」日本質的心理学会第7回大会企画シンポジウム シンポジスト（2010年11月27日、於茨城大学）
- 「物語りと共約幻想：「フォーラム」から更なる対話への深潭」日本質的心理学会第7回大会学会委員会企画シンポジウム シンポジスト（2010年11月28日、於茨城大学）
- The emergence of Ewosin-a-ngacin among the Turkana, the pastoralist of northwestern Kenya: An embodied adjustment to the drought-induced social change. XVII World Congress of Sociology:International Sociological Association, 11-17 July 2010 at Goteborg, Sweden.

(4)学外集中講義

- 岩手県立大学社会福祉学部専門基礎科目Ⅱ平成22年9月23日（木）-26日（日）

(5)海外出張・研修、その他の海外での活動

- ケニア出張：8月20日～9月20日（基盤研究A「アフリカ牧畜社会におけるローカル・プラクティスの復権／活用による開発研究の新地平」代表者・太田至）

(6)科学研究費補助金、その他の競争的研究資金など

- 基盤研究C「地域を形成し、人を留め置く力」＜ホールド＞の実証研究―「津軽の人生」調査（代表者・作道信介）

(8)弘前大学人文学部主催の学会・研究会など

- 公開講座「津軽学 弘前城築城400年 時の伝言」（2010年11月25日（木）於弘前大学創立50周年記念会館みちのくホール）

内 海 淳

(1)現在の研究テーマ

- 自然言語処理
- 構造化文書

(2)著書・論文ほか

[論文]

- 内海淳（2010）「オンライン試験と教授法評価」、CIEC研究会論文誌、1、65-68

(3)研究発表・講演

- 内海淳（2010）「オンライン試験と教授法評価」、CIEC春季研究会2010、於 立教大学池袋キャンパス、2010年3月27日

羽 淵 一 代

(1)現在の研究テーマ

- 親密性の変容と近代化
- ケニアにおけるメディア利用行動

(3)研究発表・講演

- Ichiyo HABUCHI and Satoshi IDO, Local community in a mountain village and the life course of youth in Japan, July 17, 2010, ISA X V I I World Congress of Sociology, Göteborg.
- Yuko Sugiyama, Ichiyo HABUCHI and Keiko YAMAGUCHI, The modernization Process and Life Course in Tsugaru Area, March 2, 2010, Seminar Hirosaki University Presentations, University of Helsinki Ruralia Institute, Seinajoki.
- 井戸聡・羽淵一代、「観光地における非典型労働者の地域的受容過程（1）」第83回日本社会学会 2010年11月7日（於：名古屋大学）
- 羽淵一代・井戸聡、「観光地における非典型労働者の地域的受容過程（2）」第83回日本社会学会 2010年11月7日（於：名古屋大学）

- (5)海外出張・研修、そのほかの海外での活動
 - 2010年8月～9月 ケニア共和国メディア調査
- (6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など
 - 科学研究費 若手 (B) 「モバイル・マネートランスファー・サービスがケニア社会に 及ぼす影響」 (代表者: 羽瀧一代) 2010年度～
 - 科学研究費 基盤 (C) 「「地域を形成し、人を留め置く力」<ホールド>の実証研究―「津軽の人生」調査」 (代表者: 作道信介) 2008年度～
 - KDDI財団調査研究助成金、「モバイルマネーの普及がケニア牧畜民社会に及ぼす影響」 (代表者: 羽瀧一代) 2010年度～
 - 証券奨学財団調査研究助成金、「若年層の家族イメージと恋愛行動」 (代表者: 羽瀧一代) 2010年度～

大 橋 忠 宏

- (1)現在の研究テーマ
 - 地域間交通における運輸施設の効率的配置
 - 交通施設整備や交通政策が地域経済に与える効果の計測方法の開発
- (6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など
 - 大橋忠宏 (代表) 「ネットワークを考慮した航空政策評価の実証研究」, H21年度～ (H23年度予定) 科学研究費補助金 (若手研究 (B)), 課題番号: 21730216)

増 山 篤

- (1)現在の研究テーマ
 - 人口およびその増減と都市施設へのアクセシビリティの関係を分析するための制約付きランダムマイゼーション・テストに関する研究
 - 部分地区の空間的連坦性および均質性を保証する地区区分方法に関する研究
- (2)著書・論文ほか
 - [論文]
 - 増山 篤 (2010) 「人口分布と生活利便施設へのアクセシビリティの関係を分析する制約付きランダムマイゼーション・テスト」、都市計画論文集、45 (3)、583-588
 - 増山 篤 (2010) 「空間的連坦かつ最大限均質な部分地域への地域区分となるための必要条件」、地理学評論、83 (6)、585-599
 - [研究ノート、報告書、その他]
 - 増山 篤 (2009) 「生活利便施設へのアクセシビリティが人口分布の規定要因と考える統計的分析方法」、都市計画報告集、8 (3)、106-113
- (3)研究発表・講演
 - 増山 篤 (2010) 「生活利便施設へのアクセシビリティが人口分布の規定要因と考える統計的分析方法」、都市計画報告会、於 名古屋大学東山キャンパス、2010年11月13日
- (6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など
 - 科学研究費補助金「等質地域への地域区分を行う空間分析法の開発」 (若手B) (平成21～23年度) (研究代表者)

○ビジネスマネジメント講座

四 宮 俊 之

- (1)現在の研究テーマ
 - 日本の紙パルプ企業での経営実践プロセスについての経営史研究
 - りんごの消費や需要の創出をめぐる歴史文化的研究
 - 経営史研究での次なる視差の構築をめぐる
- (2)著書・論文ほか
 - [論文]
 - 四宮俊之「経営史研究での次なる視差の強調－経営史学における新たな今日的意義の構築をめざして－」『人文社会論叢 (社会科学篇)』第23号、弘前大学、2010年2月28日、49-65頁。
- (4)学外集中講義
 - 平成22年度弘前大学教員免許状更新講習 (小、中、高等学校社会教諭) 「仕事、企業、経営、社会について」2010年8月20日、弘前大学教員免許状更新講習支援室。

- 「経営史」青森公立大学、2010年秋学期。
- (5)海外出張・研修、その他の海外での活動
 - 2009年12月24日～28日 台湾市場における青森リンゴブランドの定着プロセスに関する調査、台北（台湾）。
- (6)科学研究費補助金、その他の競争的研究資金など
 - 四宮俊之（代表者）「日本の紙バルブ企業での経営実践プロセスについての調査研究」平成22年度～（24年度予定）科学研究費補助金（基盤研究C）。
- (7)共同研究
 - 弘前大学農生学部附属りんご振興研究センターでの共同研究に参加（兼任センター員）。
 - 明治大学イノベーション研究所での共同研究に参加（客員研究員）。

保 田 宗 良

- (1)現在の研究テーマ
 - 医療サービスと顧客満足
 - ドラッグストアのマーケティング戦略の国際比較
- (2)著書・論文ほか
 - [論文]
 - 改正薬事法に伴う医薬品流通とセルフメディケーションに関する考察、日本消費経済学会年報第31集、日本消費経済学会、3月、pp.75-81。
 - [研究ノート、報告書、その他]
 - 医療消費者の顧客満足に関する予備考察、人文社会論叢社会科学篇第24号、8月、pp.153-160。
- (3)研究発表・講演
 - [研究発表]
 - 2009年6月以降のドラッグストアの経営行動の変革について、青森県消費者問題研究会セミナー、於 青森市福祉プラザ、4月29日。
 - 医療消費者の顧客満足の予備考察、日本消費経済学会北海道・東北部会研究報告会、於 弘前大学、5月22日。
 - 医療消費者の顧客満足に関する検討項目、日本消費経済学会東日本大会、於 岩手県立大学、6月27日。
 - 医療消費者の顧客満足に関する論点整理、日本消費経済学会全国大会、於 三重大学、10月3日。
 - [出張講義]
 - コンビニエンスストアと私たちの生活、函館中部高校、6月30日。
 - インターネット通販と消費者、田名部高校、7月6日。
- (5)海外出張・研修、その他の海外での活動
 - [海外研修]
 - 北マリアナ連邦 12月22日-26日、9月15日-18日、大韓民国 2月12日-14日
中華人民共和国 4月1日-4日 オーストラリア 8月20日-24日
- (7)共同研究
 - 「弘前な空間デザイン」ブランディングプロジェクト 弘前商工会議所
- (8)弘前大学人文学部主催の学会・研究会など
 - 日本消費経済学会北海道・東北部会研究報告会、2010年5月22日、於 弘前大学総合教育棟

森 樹 男

- (1)現在の研究テーマ
 - 多国籍企業における地域統括本社・海外子会社の研究
 - 北欧における産学官連携と地域経済活性化に関する研究
 - 同人漫画配信事業におけるビジネスモデル研究
- (2)著書・論文ほか
 - [論文]
 - 森樹男（2010）「北東北三都市の商業とまちづくり」、神田健策・井上博夫編著、『グローバル下の北東北地域～地域経済・財政・住民福祉の現状～』弘前大学出版会、pp.143-164。
 - 森樹男（2010）「北東北における観光と地域振興」、神田健策・井上博夫編著、『グローバル下の北東北地域～地域経済・財政・住民福祉の現状～』弘前大学出版会、pp.187-208。
 - [研究ノート、報告書、その他]
 - グローバル経営研究室・経営管理研究室編（2010）『地域への提言』
 - 弘前大学人文学部 弘前城築城400年プロジェクト編（2010）『築城400年を契機とする弘前市の歴史・文化・経済の振興プロジェクト 2009年度調査報告書 全国の築城400年祭』
- (3)研究発表・講演

- 森樹男「地域資源と観光」、あおもりツーリズム人づくり大学はやて（弘前大学・青森県主催）、2009年6月24日、於 弘前大学
- (5)海外出張・研修、そのほかの海外での活動
 - 2009年12月12日～18日バレンシア（スペイン）
 - 2010年1月18日～22日セイナヨキ（フィンランド）
 - 2010年3月21日～29日カールスタッド（スウェーデン）
 - 2010年11月23日～12月3日ストックホルム・カールスタッド・スンネ（スウェーデン）、ヘルシンキ・セイナヨキ・ヴァーサ（フィンランド）
- (6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など
 - [科学研究費補助金]
 - 「多極化時代における多国籍企業の地域統括マネジメント」（基盤研究（C））2009年度～2011年度
 - [その他の競争的研究資金]
 - 弘前大学知の拠点「コラボ拡大」を中心とした全学的研究プロジェクト支援構想（教育研究高度化のための支援体制整備事業）
 - 平成21年度産学連携人材育成事業 起業家人材育成モデル講座（経済産業省）
 - 大学生の就業力支援事業（GP）（文部科学省）2010年度～2015年度
- (7)共同研究
 - 同人漫画配信事業におけるビジネスモデルの実証研究（共同研究企業 ジーアイテック）
- (8)弘前大学人文学部主催の学会・研究会など
 - 日本・フィンランド国際セミナー「教育・研究の国際化と地域活性化への大学の役割」、主催 弘前大学人文学部・ヘルシンキ大学ルリア研究所、2010年2月12日開催

柴 田 英 樹

- (1)現在の研究テーマ
 - 粉飾決算
 - 監査風土
 - 環境会計
 - 環境監査
- (2)著書・論文ほか
 - [論文]
 - 「監査風土の基礎理論」弘前大学人文学部『人文社会論叢』（社会科学篇）第24号、査読無、65-92頁、2010年9月
 - 「粉飾の本質」『日本産業科学学会研究論叢』第15号、査読有、43-48頁、2010年3月
 - 「監査法人の未来像～監査法人の研究～」弘前大学人文学部『人文社会論叢』（社会科学篇）第23号、査読無、67-99頁、2010年2月
 - 「環境監査の法定化に関する考察」『弘前大学経済研究』第32号、査読有、43-60頁、2009年12月
 - [研究ノート、報告書、その他]
 - 「5分でわかる最近の会計学No.26～No.38」『国税速報』大蔵財務協会、2008年9月～（現在継続中）

嶋 恵 一

- (1)現在の研究テーマ
 - マイクロデータによる設備投資の実証研究。
- (2)著書・論文ほか
 - [論文]
 - 投資の調整費用、社会経済研究、58号、pp.27-39。
 - Lumpy capital adjustment and technical efficiency, Economics Bulletin, 30（4）, pp.2817-2824.
- (3)研究発表・講演
 - 日本金融学会、中央大学、2010年5月。
 - 日本経済学会、千葉大学、2010年6月。

加 藤 恵 吉

- (1)現在の研究テーマ
 - 企業価値評価 無形資産 国際課税
- (2)著書・論文ほか
 - [論文]

- 「無形資産に関する実証研究の方向性－実証研究の推移とインプリケーション－」『弘前大学経済研究』第32号、61-68頁、2009年12月（共著）
- 「移転価格税制をめぐる最近の状況と動向」『人文社会論叢 社会科学編』第23号、101－110頁、2010年3月（単著）
- (4)学外集中講義
 - 放送大学面接授業 専門科目「租税法と確定申告」（青森学習センター）2010年6月26～27日
- (6)科学研究費補助金、その他の競争的研究資金など
 - 科学研究費補助金・基盤研究C「租税状況とコーポレート・ガバナンスの関係性」（研究分担者）

金 藤 正 直

- (1)現在の研究テーマ
 - バイオマス政策・事業を対象とした業績管理システムの構築
 - 森林・林業を対象とした原価計算システムの構築
 - 産業クラスターを対象とした業績管理システムの構築
- (2)著書・論文ほか
 - [著書]
 - 金藤正直「第7章 環境管理会計の体系と国際的動向」河野正男・八木裕之・千葉貴律 編著『生態会計への招待－サステナビリティ社会のための会計－』森山書店、2010年3月、111-132頁。
 - [論文]
 - 金藤正直「バイオマス政策・事業評価システムの構築方法」『人文社会論叢（社会科学篇）』第23号（2010年2月）、111-125頁。
 - 金藤正直・八木裕之「青森県中南地域のバイオマス事業を対象とした環境会計モデルの構築」『横浜経営研究』Vol.31No.1（2010年6月）、1-16頁。
 - [研究ノート、報告書、その他]
 - 金藤正直「問題17 品質管理会計（理論編）・《計算編》、解答・解説」山本浩二・小倉昇・尾畑裕・小菅正伸・中村博之 編『スタンダードテキスト 管理会計論 問題演習編』中央経済社、2010年、76-79頁、196-199頁。
- (3)研究発表・講演
 - Hiroyuki.Y, O.Akira, and K.Masanao, "Sustainability Accounting for Biomass: Towards a Management of Forest Biomass Stocks and Flows within Regions," 22ND INTERNATIONAL CONGRESS ON SOCIAL AND ENVIRONMENTAL ACCOUNTING RESEARCH (CSEAR), 13TH EMAN CONFERENCE ON ENVIRONMENTAL AND SUSTAINABILITY MANAGEMENT ACCOUNTING, University of St. Andrews, September 2, 2010.
 - 丸山佳久・金藤正直・緒方秀樹、八木裕之「木材フローを対象とするサプライチェーン原価計算モデルの構築－兵庫県の丹波市森林組合における伐採・搬出を事例として－」環境経済・政策学会2010年大会（於：名古屋大学）、2010年9月。
 - 丸山佳久・金藤正直・緒方秀樹、八木裕之「森林・林業における原価計算の導入・実施を通じた経営改善の方法－兵庫県の丹波市森林組合における伐採・搬出を事例として－」林業経済学会2010年秋季大会（於：鹿児島大学）、2010年11月。
- (5)海外出張・研修、その他の海外での活動
 - セントアンドリュース大学で2010年9月1日～3日まで開催された環境会計関連の国際学会「22ND INTERNATIONAL CONGRESS ON SOCIAL AND ENVIRONMENTAL ACCOUNTING RESEARCH (CSEAR), 13TH EMAN CONFERENCE ON ENVIRONMENTAL AND SUSTAINABILITY MANAGEMENT ACCOUNTING」での報告と参加
- (6)科学研究費補助金、その他の競争的研究資金など
 - 環境省：地球環境研究総合推進費『バイオマスを高度に利用する社会技術システム構築に関する研究（研究代表者：仲勇治（東京工業大学教授））』2008年度～2010年度。
 - 文部科学省：科学研究費補助金若手研究（B）『森林の機能・価値を考慮した木質バイオマス事業評価システムの構築方法（研究代表者：金藤正直（弘前大学准教授））』2009年度～2011年度。
- (7)共同研究
 - 日本会計研究学会スタディグループ『情報ニーズの拡張と管理会計の変容（研究代表者：中村博之（横浜国立大学教授））』2010年度～2011年度。

岩 田 一 哲

- (1)現在の研究テーマ
 - コンピテンシー、過労死・過労自殺、（社会的）起業家の能力
- (2)著書・論文ほか
 - [論文]
 - 「過労死・過労自殺の心理的要因と職務状況との関係」『労務理論学会誌』第19号（現代日本の働き方を問う－規制緩和化の労働と生活－）pp.151-164。
- (3)研究発表・講演

- 「戦略変化に適応できる従業員の能力に関する考察－起業家のコンピテンシーに着目して－」『2010年度日本経営学会第84回大会』（於：石巻専修大学）
- (5)海外出張・研修、そのほかの海外での活動
- 〔招待報告〕
- 「社会的企業の定義と概念に関する整理－地域雇用政策との関連から－」『慶北大学人文社会科学ビジネス研究学科フォーラム』（於：慶北大学）
- (6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など
- 「過労死・過労自殺を導く要因の探求－青森県と都市部との相違点の分析から－」『弘前大学若手研究者支援事業』

高 島 克 史

- (1)現在の研究テーマ
- ベンチャー企業の経営戦略
 - strategy as practice
- (2)著書・論文ほか
- 〔研究ノート、報告書、その他〕
- グローバル経営研究室・経営管理研究室編（2010）『地域への提言』
 - 弘前大学人文学部 弘前城築城400年プロジェクト編（2010）『築城400年を契機とする弘前市の歴史・文化・経済の振興プロジェクト 2009年度調査報告書 全国の築城400年祭』
- (3)研究発表・講演
- 「産業クラスターの形成」弘前大学連続講演会、むつ市、2010年9月9日
- (5)海外出張・研修、そのほかの海外での活動
- 「教育研究高度化のための支援体制整備事業」2010年3月21日～29日、スウェーデン

○経済システム講座

鈴木 和 雄

- (1)現在の研究テーマ
- 資本蓄積論、労働過程論
- (2)著書・論文ほか
- 〔論文〕
- 鈴木和雄「接客労働の3極関係」『経済理論』（経済理論学会）第47巻第3号、2010年10月20日、36-46頁。
- (3)研究発表・講演
- 鈴木和雄「接客サービス労働過程論の展望」「フェミニスト経済学の可能性－理論・思想・射程－」研究会、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター、2009年12月19日。
- (8)弘前大学人文学部主催の学会・研究会など
- 弘前大学経済学会第35回大会、2010年10月30日。

池 田 憲 隆

- (1)現在の研究テーマ
- 近代日本の軍備拡張と財政政策
 - 近代日本の艦船国産化をめぐる諸問題
- (2)著書・論文ほか
- 〔論文〕
- 池田憲隆「日清戦争直前期における海軍軍備拡張計画と海軍省費-1890-1893-」『人文社会論叢』（社会科学篇）第24号、2010年8月、93-107頁
- (4)学外集中講義
- 弘前大学ドリーム講座「世にも不思議なお金の話」於：青森北高等学校、2010年10月26日

黄 孝 春

- (1)現在の研究テーマ
- 青森産りんごの台湾輸出について

- りんご産業におけるピンクレディーシステム（会員制）の実態
- (2)著書・論文ほか
 - 海外りんご事情①②③、『林檎商組日報』2010年3月10日、13日、16日連載。
 - 農林水産省補助事業「平成21年度の農林水産物等輸出課題対策」調査報告書『ピンクレディー輸出戦略に学ぶ』平成22年3月、第1章、5章、6章を執筆。
 - リング「ピンクレディーのクラブ制」『日本農業新聞』2010年8月14日。
- (3)研究発表・講演
 - 2010年2月18日 弘前大学りんご振興研究センター主催第12回リングトークにおいて「青森りんごの台湾輸出：歴史と現状」を発表。
 - 2010年2月19日 農林水産省補助事業「平成21年度の農林水産物等輸出課題対策」産地研究会において「青森りんご産業におけるクラブ制の導入を目指して」を発表。
 - 2010年10月29日 弘前大学りんご振興研究センター主催第14回リングトークにおいてカーペンター先生との共同で「アメリカワシントン州のりんご事情－クラブ制を中心に－」を発表。
- (5)海外出張・研修、そのほかの海外での活動
 - 2009年12月24日－28日 台北市で青森産りんごの台湾輸出に関する現地調査
 - 2010年1月31日－2月6日 青森県農水産物輸出促進協議会主催 青森産りんごの中国輸出事情視察
 - 2010年9月11日－20日 中国北京で開催される農業合作社国際シンポジウムに出席
- (6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など
 - 科学研究費補助金：挑戦的萌芽研究（H21～H22）、台湾市場における青森りんごブランドの定着プロセスに関する調査研究（研究代表者：カーペンター）に研究分担者として参加
 - 科学研究費補助金：基盤研究（B）（海外学術調査）（H22～H24）ピンクレディー・システムに関する総合的調査研究（研究代表者：V.Lカーペンター）に研究分担者として参加
- (7)共同研究
 - 農学生命学部りんご振興研究センターが主催されるセミナー、研究会に参加

細 矢 浩 志

- (1)現在の研究テーマ
 - E U統合下の欧州自動車産業の展開動向について
- (2)著書・論文ほか
 - [論文]
 - 「E U域内の直接投資と生産ネットワークの変貌」高屋定美編『E U経済』ミネルヴァ書房（第8章）、2010年4月
 - 「グローバル競争の激化と欧州自動車産業の新展開」田中素香編『世界経済・金融危機とヨーロッパ』勁草書房（第11章）、2010年9月
 - [研究ノート、報告書、その他]
 - 報告書「EUの統計分類共通化から何を学ぶか」『東アジア機械関連統計の特性整理ならびにNAFTA、EU統計との比較』機械工業経済研究報告書H21-2-2A（第5章3-1、分担執筆）、2010年3月
- (4)学外集中講義
 - 山形大学人文学部「経済政策論（後期）」2010年1月
 - 山形大学人文学部「経済政策論（前期）」2010年9月

笠 原 幹

山 本 康 裕

- (1)現在の研究テーマ
 - 金融機関の合併が金融政策に与える影響
 - 長期資金と経済成長
- (2)著書・論文ほか
 - [論文]
 - 山本康裕（2010）「長期資金と技術進歩の関係－財務データによるパネル分析－」『人文社会論叢 社会科学篇』弘前大学人文学部、第23号、pp.127-144
- (3)研究発表・講演
 - 山本康裕（2010）「銀行業の寡占化は金融政策にいかなる影響をもたらすか？」日本経済学会2010年度秋季大会、2010年9月19日 関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス
- (6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

- 平成22年度 基盤研究費（C）研究課題名
「銀行業の寡占化は如何に銀行貸出額を変させ金融政策にいかなる影響を与えるか」

福田 進 治

- (1)現在の研究テーマ
 - リカードの経済理論の研究
- (2)著書・論文ほか
 - [研究ノート]
 - 「ケインズの「流動性のわな」」『人文社会論叢 社会科学編』第23号、185-196頁、2010年2月28日刊行
 - [その他]
 - 「近年の消費者問題をめぐる動き」『青森県消費者問題研究会設立二十周年記念誌』31頁、2010年9月25日刊行
- (3)研究発表・講演
 - [研究発表]
 - 「リカードとケインズー「流動性の罠」に関連してー」第26回経済思想研究会、青森・弘前学院大学、2010年4月25日
 - [討論]
 - 「[Harriet Martineau and Industrial Strife: from Theory into Fiction into Melodrama]」（報告者 John Vint）、第19回リカード研究会、東京・明治大学、2010年3月12日
 - 「リカードにおける労働需要の決定要因」（報告者 石井 稔）、第74回経済学史学会大会、富山・富山大学、2010年5月22日～23日
- (6)科学研究費補助金、その他の競争的研究資金など
 - 科学研究費補助金 基盤研究（A）「リカードが経済学に与えた影響とその現代的意義の総合的研究」（課題番号22243019 平成22-26年度 研究代表者 出雲雅志）
 - 同上 基盤研究（B）「経済思想の受容・浸透過程に関する実証研究：人々はどうに経済学を受け入れたか」（課題番号22330064 平成22-26年度 研究代表者 下平裕之）
 - 同上 基盤研究（C）「日本のリカード研究と欧米のリカード研究の比較検討」（課題番号22530193 平成22-26年度 研究代表者 福田進治）
- (8)弘前大学人文学部主催の学会・研究会など
 - ・第31回経済学史学会東北部会例会、青森・弘前学院大学、2010年4月24日

小谷田 文 彦

- (1)現在の研究テーマ
 - GravityモデルCGE モデルによる地域政策の実証研究
 - 伝統工芸品産業と地域活性化に関する研究
- (2)著書・論文ほか
 - [論文]
 - 小谷田文彦、泉田成美（2010）「CGE モデルにおける政策評価の現実妥当性について」東北経済学会誌（東北経済学会）、39頁～44頁。
- (3)研究発表・講演
 - Fumihiko KOYATA “The potential of the local innovation by the traditional-handicrafts industry in Japanese rural area.” 3rd Conference of the Nordic Section of the Regional Studies Association, June 21-23, 2010 Seinäjoki, Finland
 - 小谷田文彦「日本の伝統工芸産業に関する公的部門の支援政策について」日本と韓国の地域活性化と雇用政策（2010年11月12日）於慶北大学校、韓国（大邱市）
 - 小谷田文彦「地域政策の経済分析：フィンランドの事例を参考に」第34回弘前大学経済学会（2010年10月30日）於弘前大学
- (5)海外出張・研修、その他の海外での活動
 - 2010年1月17日～24日 フィンランド共和国
 - 2010年3月21日～29日 スウェーデン公国
 - 2010年6月18日～26日 フィンランド共和国
 - 2010年10月12日～16日 フィンランド共和国
 - 2010年10月17日～24日 ポーランド共和国
 - 2010年11月10日～14日 大韓民国
- (6)科学研究費補助金、その他の競争的研究資金など
 - CGEモデル、Gravityモデルによる我が国の自由貿易政策の再検討（平成22年度から24年度、基盤研究C、22530213）

飯 島 裕 胤

(1)現在の研究テーマ

- 企業買収の経済分析

(2)著書・論文ほか

[論文]

- 飯島裕胤 (2009) 「買収防衛的な第三者割当増資と株主利益」 『弘前大学経済研究』 32, 1-18
- Hirotsugu Iijima (2010) “Entrenchment, Team Incentives and Pressure from Shareholders: Explanation of the Adoption or Abandonment of Takeover Defenses” 『弘前大学人文社会論叢』 23, 145-162
- 飯島裕胤、家田崇 (2010) 「企業買収ルールと少数株主利益」 『甲南会計研究』 4, 23-30

(3)研究発表・講演

- 飯島裕胤、家田崇 「企業買収ルールと少数株主利益」日本応用経済学会、西南学院大学、2010年6月
- 飯島裕胤「『法の経済分析』の考え方：企業買収での部分買付問題を例として」弘前大学経済学会、弘前大学、2010年10月

李 永 俊

(1)現在の研究テーマ

- 若年者の雇用問題 ●地域間労働移動問題 ●地域の雇用問題

(2)著書・論文ほか

[論文]

- 李永俊 (2010) 「北東北三県の失業構造」『グローバル下の北東北地域～地域経済・財政・住民福祉の現状～』神田健策・井上博夫編著、弘前大学出版会、103-122頁。
- 李永俊・杉浦裕晃 (2010) 「学卒時の労働市場需給はどのように現在の就業状況に影響を及ぼすか」青森公立大学 Discussion Paper No. 38。

[研究ノート、報告書、その他]

- Lee Youngjun and Hiroaki Sugiura (2010) An Analysis of Determinative Factors of Regional Migration NORSA (the Nordic Section of the Regional Studies Association) 2010, Seinajoki, Finland.
- 李永俊 (2010) 「青森県の雇用政策の現状と評価」『韓国と日本の地域雇用政策』、大邱慶北雇用人的資源フォーラム。
- 連載「雇用」東奥日報 (2010年5月5・7日)
- 連載「日曜随想」陸奥新報 (2010年5月2日、6月6日、7月11日、8月15日、9月19日、10月24日、11月18日)

(3)研究発表・講演

- 李永俊・杉浦裕晃 (2010) 「学卒時の労働市場需給はどのように現在の就業状況に影響を及ぼすか」、日本経済学会2010年度秋季大会、2010年9月18～19日、於関西学院大学
- Lee Youngjun and Hiroaki Sugiura (2010) An Analysis of Determinative Factors of Regional Migration, The Search: Future dynamics of regional development, NORSA2010, 2010.6.
- 李永俊 (2010) 「青森県の雇用政策の現状と評価」『韓国と日本の地域雇用政策』、大邱慶北雇用人的資源フォーラム、2010年7月2日、於韓国大邱市
- 李永俊・杉浦裕晃 (2010) 「地域間労働移動の決定要因分析－都市と農村間の循環的労働移動の決定要因について－」『韓国と日本の地域活性化と雇用政策』、2010年11月12日、於慶北大学校サンジュキャンパス。
- 「青森県の課題とその解決に向けて」『非正規雇用を考えるシンポジウム』、青森県・青森県労働協会主催、2010年11月4日、24日、25日、於青森市、弘前市、八戸市
- 「北東北三県の労働市場」北海道・東北地域協議会東北北部三県労務管理研修会、2010年9月17日、於青森国際ホテル (社会保険労務士研修会)
- 「職業人としての現代の若者気質」平成22年度青森県高等学校教育研究会「看護部会」研究大会、2010年8月18日於青森市県民福祉プラザ

(7)共同研究

- 「労働移動から考える地域間雇用格差」弘前大学雇用政策研究センター内共同研究
- 「新しい時代の地域雇用政策」弘前大学雇用政策研究センター内共同研究

○公共政策講座

村 松 恵 二

(1)現在の研究テーマ

- ヨーロッパ「極右」のイデオロギーと心理

(2)著書・論文ほか

〔論文〕

- 「ナショナルな価値と普遍的価値」田中浩編集『ナショナリズムとデモクラシー』、未来社、2010年3月
- 「極右概念の再検討」青森法学会『青森法政論叢』、第11号、2010年8月

山下 祐 介

(1)現在の研究テーマ

- 社会学（地域社会学・農村社会学・都市社会学・環境社会学・災害社会学・社会理論）

(2)著書・論文ほか

〔論文・論説・事典など〕

- 「「太宰治の中の社会と個人～官立弘前高校時代の資料の紹介を含めて」『津軽学』第5号、30－33頁、津軽に学ぶ会、2009年12月。
- 「都市の発展～青森 三内丸山からコンパクトシティ、そして新幹線開通まで」『津軽学』第5号、130－139頁、津軽に学ぶ会、2009年12月。
- 「地域公共交通をめぐる社会実験と住民参加——青森県津軽地域の事例をもとに」『運輸と経済』、第69巻12号、財団法人運輸調査局、48－58頁、2009年12月。
- 「災害福祉コミュニティ」「地方都市の衰退と再生」、2010年6月、日本社会学会・社会学事典刊行委員会編『社会学事典』、丸善、2010年6月。
- 「鈴木榮太郎『都市社会学原理』結節機関説の導出と青森調査——県内機関、弘前駅、西目屋村の五十年後」『人文社会論叢』（人文科学篇）、弘前大学人文学部、第24号、17－58頁、2010年8月。
- 「戦後日本社会の世代と移動——過疎／過密の生成と帰結——（特集 世代と移動の都市社会学）」、日本都市社会学会編『日本都市社会学会年報』28号、日本都市社会学会、1－25頁、2010年9月。
- 「公共問題への住民参加はなぜむずかしいか——地域公共交通をめぐる生活リスクの問題から」『公営企業』2010年10月号、財団法人 地方財務協会、11－21頁、2010年10月。
- 「自然災害」、環境総合年表編集委員会編『環境総合年表—日本と世界—』、すいれん舎、364－366頁、2010年11月。
- 「技法を選ぶ」、谷富夫・山本努編『よくわかる質的社会調査 プロセス編』、ミネルヴァ書房、82－97頁、2010年11月。

〔報告書、その他〕

- 『弥生こいの広場隣接跡地活用方策検討事業報告書』弘前大学人文学部・弘前市、2009年10月。
- 『地区住民による地区住民のための公共交通マネジメントの持続的展開——青森県平川市新屋地区における実践——エリアマネジメント推進調査報告書』2010年3月、特定非営利活動法人ひらかわマイバスの会、青森県平川市新屋町会、弘前大学人文学部社会学研究室。
- 『鯨ヶ沢町 集落再生のための条件（内部的・外部的）調査報告書～ふるさとがなくなる？～』、鯨ヶ沢町、弘前大学人文学部社会学研究室、2010年3月。
- 「書評 相川良彦『少子高齢化と農村』筑波書房」、『農業と経済』vol.76、No.3、97頁、昭和堂、2010年3月。
- 「神戸各区災害志願者の状況」（王一平訳、共著）、2010年3月、北京日本学研究中心・神戸大学編『日本阪神大地震研究』北京大学出版社、59－66頁。

(3)研究発表・講演

- 「青森県ふるさと再生セミナー」2010年2月12－13日、平川市市民文化センター、平川市、弘前大学人文学部社会学研究室。
- 「公共社会学の構想について」、西日本社会学会68回大会シンポジウム「公共社会学の構想」、コメンテーター、西日本社会学会、福岡県立大学、2010年5月。
- 「岩木山麓の変遷と岩木川中流部 津軽の村と開発～旧船沢村と弥生開拓、リゾート開発跡地から～」、2010年8月、平成22年度社会科地域教材開発講座、青森県総合学校教育センター。
- 「津軽黒石 旧山形村を馬車でめぐる（その1） 火流しの里・落人伝説・マタギの村 大川原」、2010年8月、津軽伝承工芸館・山のおもしえ学校。
- 「限界集落のリスクマネジメント——世代論から考える都市・農村関係の再構築——」、2010年度東北都市学会大会、於コラボ弘大（弘前大学創立60周年記念記念会館、八甲田ホール）、公開シンポジウム「マネジメントを科学する」2010年9月。
- 「危機に対する共助と地域コミュニティを考える」、財）日本防火・危機管理促進協会、2010年10月29日、日本消防会館5階大会議室、平成22年度研究会第2回「NPO・ボランティアの可能性と課題」。

(7)共同研究

- 岩木川・馬淵川・白神山地に関する研究
国土交通省馬淵川学識経験者懇談会委員
国土交通省岩木川河川整備員会委員
青森県環境審議会委員
- 青森県の過疎問題・交通問題に関する研究

平川市公共交通協議会委員
NPO法人ひらかわマイバスの会理事
NPO法人白神共生機構代表 ほか

児 山 正 史

(1)現在の研究テーマ

- 地方自治体の行政評価・政策評価と総合計画
- 公共サービスの市場（準市場）

(2)著書・論文ほか

[論文]

- 「岩手県滝沢村の住民ニーズ調査と総合計画策定—自治体行政における社会指標型ベンチマーキングの活用—」、『人文社会論叢（社会科学篇）』、第23号、163-173頁

山 口 恵 子

(1)現在の研究テーマ

- 都市の貧困と社会的排除に関する社会学的研究
- 地方都市における仕事と地域移動の変容に関する研究

(2)著書・論文ほか

[研究ノート]

- 山口恵子、2010、「統計にみる青森県的女性出稼ぎの動向」『人文社会論叢（社会科学編）』23号：209-219頁

[書評]

- 山口恵子、2010、「武田尚子・文貞實『温泉リゾートスタディーズ』」『寄せ場』23号：144-150頁

[その他]

- 山口恵子、2010、「『自立支援法』以降の野宿者問題—特集にあたって」『解放社会学研究』22号：9—11頁

(3)研究発表・講演

- Keiko Yamaguchi, Difficulty and Adaptation of Migrant Youth in Japan, July 17, 2010, ISA XVII World Congress of Sociology, Göteborg.
- Yuko Sugiyama, Ichiyo Habuchi and Keiko Yamaguchi, The Modernization Process and Life Course in Tsugaru Area, March 2, 2010, Seminar Hirosaki University Presentations, University of Helsinki Ruralia Institute, Seinäjoki. (第I部を担当)
- 山口恵子、「都市の流動層と貧困化」、第28回日本都市社会学大会・テーマ部会「大都市における貧困の現在」、2010年9月11日、日本大学文理学部

(4)学外集中講義

- 放送大学教養学部2009年度第2学期面接授業、「都市と貧困を考える」、2009年12月5～6日
- 弘前大学特別講義・りんご王国こうぎょくカレッジ（ラジオ）、「わたしたちのセクシュアリティ」、2010年5月放送
- 弘前大学ドリーム講座「『ホームレス』とは誰か」、2010年8月25日、野辺地高等学校

(5)海外出張・研修、そのほかの海外での活動

- フィンランド 2010年2月25日～3月5日（セイナヨキの産業・労働の視察とルーラリア研究所における研究発表・交流）
- スウェーデン 2010年7月8日～20日（ISA XVII World Congress of Sociology, Göteborg への参加と報告）

(6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

- 科学研究費補助金（基盤研究C）「若者の地域移動と貧困化に関する社会学的研究」（研究代表）

(7)共同研究

- 「若者と移動研究会」弘前大学人文学部内外教官

(8)弘前大学人文学部主催の学会・研究会など

- 「弘大ドキュメンタリー映画祭」実行委員会・コーディネーター（学部長裁量経費により学生が企画した映画祭のコーディネート）

平 野 潔

(1)現在の研究テーマ

- 過失犯における注意義務概念
- 刑法における情報の保護
- 裁判員裁判における量刑判断

(2)著書・論文ほか

[論文]

- 「過失犯における客観的注意義務と客観予見可能性」『刑法雑誌』49巻2=3号（日本刑法学会、2010年3月1日）125-138頁
- 「青森県における裁判員裁判—量刑判断を中心に—」『人文社会論叢 社会科学篇』24号（弘前大学人文学部、2010年8月31日）109-131頁

(3)研究発表・講演

[講演]

- 「子どもと少年法を考える」弘前大学公開講座子どもの育ちに大人はどう向き合うのか（2010年11月19日、於：三沢市公会堂3階第8集会室）

[報告]

- 「青森県の裁判員裁判と学生傍聴活動」シンポジウム裁判員裁判の体験（2010年10月23日、於：人文学部多目的ホール）

(8)弘前大学人文学部主催の学会・研究会など

- シンポジウム「裁判員裁判の体験」（2010年10月23日、於：人文学部多目的ホール）（運営）

飯 考 行

(1)現在の研究テーマ

- 北海道と東北地方の法実務と法化
- 裁判員裁判の実態研究と教育への活用
- 弁護士の業務とキャリアパス
- 司法書士および法律隣接職の沿革と職域
- 裁判官の任用と業務
- 司法の福祉・治療的機能、QOL向上のための法政策
- ベトナムの裁判統制制度

(2)著書・論文ほか

[論文]

- 飯考行「非行少年自立支援『学生ボランティア』の行動規範」司法福祉学研究10号122-139頁（2010年7月）
- 飯考行「裁判員裁判の更生、治癒効果に関する試論」人文社会論叢（社会科学篇）24号133-151頁（2010年8月）
- Takayuki Ii, Japanese Way of Judicial Appointment and Its Impact on Judicial Review, 5 (2) National Taiwan University Law Review, 73-111（2010年9月）

[研究ノート、報告書、その他]

- 弘前大学人文学部裁判法ゼミナール2009年度司法調査報告書『みちのく司法通信』（監修）（2010年3月）
- 飯考行「社会と法—法律相談にみる社会のなかの法の役割」法学セミナー665号15頁（2010年4月）
- 飯考行「司法制度改革10年の到達点と課題（1）（2）」WEB市民の司法（2010年6月14、21日）

(3)研究発表・講演

[研究発表]

- Takayuki Ii, "Weighing Attorney against Judge: Why Are There Few Judicial Appointments of Attorneys in Japan?", Inaugural East Asian Law and Society Conference in Hong Kong（2010年2月6日、香港大学）
- Takayuki Ii, "Stated Barriers to Access to Justice in Japan: Their Collapse and Persistence in Judicial Reform", Fourth International Seminar on the Dynamics of Law and Society in Europe and Japan "Legal Reform and the Role of the Judiciary: Revisiting Japanese Exceptionalism from a European Perspective", at the Katholieke Universiteit Leuven, Belgium（2010年3月20日、カトリックルーヴァン大学）
- 飯考行「地域司法の視点から見た裁判員裁判」民主主義科学者協会法律部会春合宿研究会（若手交流会）（2010年3月25日）
- 飯考行「地域から見た裁判員裁判—青森県の事例を交えて」日本法社会学会2010年度学術大会（ミニシンポジウム「地域司法と裁判員裁判」）（2010年5月8日、同志社大学）
- Takayuki Ii, Reformatory and Therapeutic Effect of the Saiban-in Trial, Law and Society Association, 2010 Annual Meeting in Chicago, U.S.A（2010年5月29日、シカゴルネッサンスホテル）
- 飯考行「裁判員を「よい経験」と感じるのはなぜか」シンポジウム「裁判員裁判の体験」（2010年10月23日、弘前大学）
- Takayuki Ii and Kay-Wah Chan, "Justice System Reform and Judicial Scriveners in Japan: An Analysis of the Actual Situation in North-Tohoku Region", Gold Coast Conference on Japanese Law（2010年11月15日、ボンド大学）

[講演]

- 飯考行「裁判員裁判と死刑に関する制度と動向」アムネスティ・弘前グループ学習会（2010年10月17日）

[パネリスト]

- 日本弁護士連合会裁判官制度改革・地域司法計画推進本部「裁判官の選任のあり方を考えるパネル討論会」（2010年9月21日、弁護士会館）

[コーディネーター]

- ミニシンポジウム「地域司法と裁判員裁判」日本法社会学会2010年度学術大会（2010年5月8日、同志社大学）

- 座談会「裁判員裁判の体験」シンポジウム「裁判員裁判の体験」（2010年10月23日、弘前大学）
- パネルディスカッション「青森県のQOLと労働法政策」シンポジウム「青森県のQOLと労働法政策」（2010年11月6日、弘前大学）

(4)学外集中講義

- 青森県立黒石高等学校専攻科看護科後期集中講義「健康支援と社会保障制度（看護関係法令）」担当（2009年10－12月）

(5)海外出張・研修、その他の海外での活動

- 香港（香港、2010年2月4－8日）：Inaugural East Asian Law and Society Conference in Hong Kong（香港大学）への参加・報告
- ベルギー（ルーヴァン、2010年3月18－23日）：Fourth International Seminar on the Dynamics of Law and Society in Europe and Japan “Legal Reform and the Role of the Judiciary: Revisiting Japanese Exceptionalism from a European Perspective”（ルーヴァンカトリック大学）への参加・報告
- アメリカ合衆国（シカゴ、2010年5月26日－6月1日）：Law and Society Association, 2010 Annual Meeting（シカゴルネッサンスホテル）への参加・報告
- オーストラリア（ゴールドコースト、シドニー、ウォーナンブル、メルボルン、2010年11月14－22日）：Gold Coast Conference on Japanese Law（ボンド大学）への参加・報告、National Rural Regional Law and Justice Conference（ディキンソン大学）への参加、法律サービス現地調査

(6)科学研究費補助金、その他の競争的研究資金など

- 平成19-21年度科学研究費補助金若手研究（B）「東北地方の法律サービス提供構造に見る司法改革の影響と『法化』状況」（研究代表）
- 平成21年度弘前大学人文学部長裁量経費「連続講演会・シンポジウム 裁判員制度と世界の司法動向－市民の司法参加の意義を考える－」（飯考行、平野潔、長谷河亜希子）
- 平成21年度弘前大学若手研究者支援事業研究「裁判員制度の円滑な実施に向けたサポートシステムの検討」（研究代表）
- 平成20-22年度科学研究費補助金基盤研究（A）「ポスト『ゼロ・ワン』時代の司法過疎対策の研究」（研究分担）
- 平成22-24年度科学研究費補助金若手研究（B）「北日本の法律サービス提供構造に見る司法改革の影響と『法化』状況」（研究代表）
- 平成22-25年度科学研究費補助金基盤研究（A）「中国、ベトナム、ロシアおよび中央アジア諸国の裁判統制制度に関する比較総合研究」（連携研究）
- 平成22-26年度科学研究費補助金基盤研究（A）「法科大学院修了弁護士のカリヤ規定要因に関する追跡研究」（連携研究）
- 平成22年度弘前大学人文学部長裁量経費「青森県のQOL向上のための労働・福祉法政策研究」（飯考行、李永俊、長谷河亜希子）
- 平成22年度弘前大学教育改革プロジェクト・弘前大学GP「裁判員教育から創る！学士力と社会貢献能力」（飯考行、宮崎秀一、平野潔）

(7)共同研究

- 日本弁護士連合会「2010年弁護士業務の経済的基盤に関する実態調査」メンバー

(8)弘前大学人文学部主催の学会・研究会など

- シンポジウム「裁判員裁判の体験」（弘前大学人文学部棟4階多目的ルーム、2010年10月23日）企画
- シンポジウム「青森県のQOLと労働法政策」（弘前大学人文学部棟4階視聴覚ルーム、2010年11月6日）企画
- 浅利有里（青森県司法書士会）講演会（弘前大学総合教育棟319号室、2010年11月30日）企画

長谷河 亜希子

(1)現在の研究テーマ

- 経済法、独占禁止法、フランチャイズ・システムの法規制

(2)著書・論文ほか

〔論文〕

- 「米国のフランチャイズ法制と日本の課題」経済174号129-134頁。（2010年3月）
- 「フランチャイズ・システムと優越的地位の濫用（1）」公正取引721号9-13頁（2010年11月）

〔研究ノート、報告書、その他〕

- 「経済法判例研究会 第137回 官製談合における「意思の連絡」の立証－郵便区分機入札談合事件差戻審判決」ジュリスト1392号185-188頁（2010年1月）
- 「26 基本合意の「相互拘束」該当性」舟田ほか編『経済法判例・審決百選（別冊ジュリスト199号）』54～55頁（2010年4月）
- 「セブン－イレブンに対する排除措置命令について」速報判例解説編集委員会編『法学セミナー増刊 判例速報解説vol.6』293～296頁（2010年4月）

(3)研究発表・講演

- 「グローバル資本主義と経済法」民主主義科学者協会法律部会学術総会『同時代の世界と実定法学－21世紀の法分析の新たな』

- な地平」(東京慈恵医科大学国領キャンパス:2010年11月21日)
- (5)海外出張・研修、そのほかの海外での活動
- 「ソウル大学・早稲田大学合同ゼミナール」2010年11月24-28日、韓国(ソウル)
- (6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など
- 文部科学省科学研究費(若手研究B)「米国のLittle FTC Actsとフランチャイズ規制」(課題番号22730044)

日 野 辰 哉

- (1)現在の研究テーマ
- 行政訴訟における集合的利益の法的構成
 - 経済行政における「危険」の法構造
 - 科学技術の発展にともなうリスクの発生と行政による制御
 - Maurice Hauriouのinstitution論をめぐる独仏公法学の交錯
- (2)著書・論文
- [著書]
- 日野辰哉「経済行政における公的規制のあり方ー競争促進と安全確保の行政手法ー」岡田正則・首藤重幸編『経済行政法の理論』(日本評論社、2010年) pp.33~55
 - 日野辰哉「指揮監督権」など『確認行政法用語 230』(成文堂、2010年) pp.11~13, pp.29~30, p.44
- [論文]
- 日野辰哉「要件裁量・法解釈・性質決定」法学教室360号(2010年) pp.11~15
- (3)研究発表・講演
- 「法律、法、法学」(2010年、青森南高校)
- (6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金
- 平成21年度 弘前大学若手研究者支援事業「EUにおける公共サービス市場の活用と市民の社会的・経済的権利の調整法理の研究」(研究代表)